

令和 4 年 度

学 生 生 活 調 査 報 告

独立行政法人日本学生支援機構

令和 4 年度 学生生活調査

まえがき

日本学生支援機構（JASSO）では、学生の標準的な生活状況を把握し、学生生活支援事業の充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、平成 16 年度から隔年で「学生生活調査」を実施しています。本調査は、平成 14 年度までは文部科学省において実施していましたが、平成 16 年 4 月の JASSO の設立に伴い、文部科学省から業務が移管されました。

令和 4 年度調査については、令和 6 年 3 月に調査結果を取りまとめ公表したところですが、本報告においては、大学学部昼間部、短期大学昼間部及び大学院を中心に前回調査（令和 2 年度）との比較を行いながら調査結果の概要を説明するとともに、過去 10 年間の学生生活費や主な経費等の推移についての資料を掲載しています。

今回の調査は、前回調査と同様に大学学部、短期大学本科及び大学院の学生（通信課程、休学者及び外国人留学生を除く。）を調査対象とし、標準的な学生生活費とこれを支える家庭の経済状況、学生のアルバイト従事状況など学生生活状況を把握することを主眼として、全国 2,982,232 人から 139,366 人を抽出し、令和 4 年 11 月現在で実施したものです。

調査の方法は、設置者（国公私）ごとに、大学学部昼間部、同夜間部、短期大学昼間部、同夜間部、大学院修士課程、同博士課程、同専門職学位課程の別に抽出率を定めてサンプル数を算出し、これを各大学、短期大学に割り当てて調査を依頼しました（一部区分については全数調査）。回収率は 17.6%、有効回答数は 24,583 人で、本文に紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、全国の調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

なお、本調査は、前回まで、紙の調査票を学生に配付し、これに回答を記入、提出させる方法で実施していましたが、本調査にご協力いただく学生及び大学等関係教職員の利便性向上等を目的として、令和 4 年度からオンラインによる調査に変更しました。調査の実施方法等については、今後も、必要な見直しを行ってまいりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

学生生活に伴う問題は広範かつ複雑で、この調査で取り上げたことに尽きるものではありませんが、この調査結果が学生生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

末筆ながら、本調査に回答いただいた学生の皆様、本調査の実施に際して多大なご協力をいただいた全国の大学及び短期大学の関係者の皆様をはじめ、ご助言ご協力をいただきました関係者の方々に改めて深く感謝申し上げます。

目 次

まえがき

1.	学生生活費	
(1)	年間学生生活費	1
(2)	学生生活費の推移	1
(3)	設置者別の学生生活費	3
(4)	居住形態別の学生数の割合	4
(5)	居住形態別の学生生活費	5
(6)	地域別・居住形態別学生生活費	7
(7)	男女別・居住形態別学生生活費	8
(8)	学年別の学生生活費	10
2.	学生の収入の状況	11
3.	家庭からの給付額等	
(1)	家庭からの給付	14
(2)	家庭の年間平均収入	14
(3)	家庭の年間収入別学生生活費に対する家庭からの給付の割合	15
(4)	家庭の収入階層区分別学生数の割合	16
(5)	主たる家計支持者の世帯区分別学生数の割合	16
4.	アルバイトの従事状況	
(1)	アルバイトの従事状況	17
(2)	アルバイト従事時期別学生数の割合	19
(3)	アルバイト従事職種別学生数の割合	21
5.	奨学金の受給希望及び受給状況	
(1)	学校区分別・設置者別の奨学金受給希望・受給状況	22
(2)	家庭の年間収入別の奨学金受給希望・受給状況	23
(3)	奨学金の種類別・設置者別受給状況	24
6.	居住形態別・地域別通学時間	25
7.	週間平均生活時間	27
8.	大学の学生支援体制への満足度	30
9.	学生の不安や悩み	31
	(参考)	
	①表：居住形態別・設置者別の学生生活費	32

令和4年度学生生活調査集計表

I. 大学学部・短期大学

A-1	居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳	(大学学部・昼間部)	34
A-2	〃	(大学学部・夜間部)	35
A-3	〃	(短期大学・昼間部)	36
A-4	〃	(短期大学・夜間部)	37
B-1	居住形態別・地域別学生生活費の内訳	(大学学部・昼間部)	38
B-2	〃	(短期大学・昼間部)	38
C-1	居住形態別・地域別学生数	(大学学部・昼間部)	39
C-2	〃	(短期大学・昼間部)	39
D-1	学年別年間学費支出平均額	(大学学部・昼間部)	40
D-2	〃	(大学学部・夜間部)	40
D-3	〃	(短期大学・昼間部)	41
D-4	〃	(短期大学・夜間部)	41
E-1	学科(専攻)系統別学費支出平均額	(大学学部・昼間部)	42
E-2	〃	(短期大学・昼間部)	43
F-1	家庭の年間収入別学生数の割合	(大学学部・昼間部)	44
F-2	〃	(短期大学・昼間部)	45
G-1	世帯区分別・家庭の年間収入別学生数の割合	(大学学部・昼間部)	46
G-2	〃	(短期大学・昼間部)	47
H-1	家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合	(大学学部・昼間部)	48
H-2	〃	(短期大学・昼間部)	48
I-1	家庭からの給付程度別・アルバイト収入使途別学生数の割合	(大学学部・昼間部)	49
I-2	〃	(短期大学・昼間部)	50
J-1	アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合	(大学学部・昼間部)	51
J-2	〃	(短期大学・昼間部)	52
K-1	設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況	(大学学部・昼間部)	53
K-2	〃	(短期大学・昼間部)	54
L	設置者別・奨学金の種類別学生数の割合		55
M-1	設置者別・大学の学生支援体制への満足度	(大学学部・昼間部)	56
M-2	〃	(短期大学・昼間部)	56
N-1	設置者別・学生の不安や悩み	(大学学部・昼間部)	57
N-2	〃	(短期大学・昼間部)	57
O-1	居住形態別・地域別片道通学時間	(大学学部・昼間部)	58
O-2	〃	(短期大学・昼間部)	59
P-1	設置者別・週間平均生活時間	(大学学部・昼間部)	60
P-2	〃	(短期大学・昼間部)	61

Ⅱ. 大学院

A-1	居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳	(大学院・修士課程)	64
A-2	〃	(大学院・博士課程)	65
A-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	66
B-1	居住形態別・地域別学生生活費の内訳	(大学院・修士課程)	67
B-2	〃	(大学院・博士課程)	67
B-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	68
C-1	居住形態別・地域別学生数	(大学院・修士課程)	68
C-2	〃	(大学院・博士課程)	69
C-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	69
D-1	学年別年間学費支出平均額	(大学院・修士課程)	70
D-2	〃	(大学院・博士課程)	70
D-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	70
E-1	学科(専攻)系統別学費支出平均額	(大学院・修士課程)	71
E-2	〃	(大学院・博士課程)	72
E-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	73
F-1	家庭の年間収入別学生数の割合	(大学院・修士課程)	74
F-2	〃	(大学院・博士課程)	75
F-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	76
G-1	世帯区分別・家庭の年間収入別学生数の割合	(大学院・修士課程)	77
G-2	〃	(大学院・博士課程)	78
G-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	79
H-1	家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合	(大学院・修士課程)	80
H-2	〃	(大学院・博士課程)	80
H-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	81
I-1	家庭からの給付程度別・アルバイト収入使途別学生数の割合	(大学院・修士課程)	82
I-2	〃	(大学院・博士課程)	83
I-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	84
J-1	アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合	(大学院・修士課程)	85
J-2	〃	(大学院・博士課程)	86
J-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	87
K-1	設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況	(大学院・修士課程)	88
K-2	〃	(大学院・博士課程)	89
K-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	90
L	設置者別・奨学金の種類別学生数の割合		91
M-1	設置者別・大学の学生支援体制への満足度	(大学院・修士課程)	92
M-2	〃	(大学院・博士課程)	92
M-3	〃	(大学院・専門職学位課程)	93

N－1	設置者別・学生の不安や悩み	(大学院・修士課程)	94
N－2	〃	(大学院・博士課程)	94
N－3	〃	(大学院・専門職学位課程)	95
O－1	居住形態別・地域別片道通学時間	(大学院・修士課程)	96
O－2	〃	(大学院・博士課程)	97
O－3	〃	(大学院・専門職学位課程)	98
P－1	設置者別・週間平均生活時間	(大学院・修士課程)	99
P－2	〃	(大学院・博士課程)	100
P－3	〃	(大学院・専門職学位課程)	101

参考資料

資料1	：令和4年度学生生活調査実施要領・学生用調査案内サンプル	105
資料2	：調査票様式及び調査票回答要領	122
資料3	：過去10年間の学生生活費－学生生活調査結果から－	
(1)	大学学部昼間部・短期大学昼間部	146
(2)	大学院	155
資料4	：主な経費等の推移の図・グラフ（平成16年度調査以降）	
(1)	学生生活費及び収入額内訳の推移	164
(2)	家庭からの給付程度別アルバイト従事状況の推移	169
(3)	奨学金受給状況の推移	174

〔留意事項〕

1. 本調査における学生生活費は学費と生活費を合わせたものである。
学 費：授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計
生活費：食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の日常費（通信費を含む）の合計
2. 本報告の集計表「Ⅰ. 大学学部・短期大学」のK－1表・K－2表、「Ⅱ. 大学院」のK－1表からK－3表で示す奨学金受給者の割合には、日本学生支援機構の奨学金（給付・貸与）とそれ以外の奨学金（給付・貸与）の両方を含む。
3. 本報告の集計各表は端数処理（四捨五入）後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。
4. 本報告の「修士課程」「博士課程」「専門職学位課程」は、大学院の下記の各課程のことを言う。なお、専門職学位課程については、平成18年度より調査対象とした。

修士課程	修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期2年（医・歯・薬・獣医を除く）
博士課程	博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年、一貫制博士課程（医・歯・薬・獣医）
専門職学位課程	法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程
5. 大学院については、配偶者を有すると回答した者は、学生生活費が大きく異なるケースが想定されるため、従前の例にならい学生生活費等の集計に含まない。
6. 大学学部及び短期大学について、平成26年度から文部科学省国立教育政策研究所との共同により大学生等の学習状況に関する調査を実施していたが、令和4年度調査では廃止している。
7. 質問の一部に回答がない調査票は、一部の集計表では集計対象としていない。
8. 各集計表の脚注に、有効回答数(n)を参考値として表示している。なお、設問によって有効回答数が異なることから、各集計表におけるnは必ずしも一致しない。
9. 集計各表の数値は、この標本調査の有効回答を基礎として、調査対象学生総数についての推計値を算出した結果である。
10. 表中の記号は次のように使う。
「－」： 計数が無い場合
「0.0」： 計数が単位未満の場合
「…」： 計数の出現が有り得ない場合または調査対象とならなかった場合

1. 学生生活費

(1) 年間学生生活費（表1）

年間の学生生活費は、次のようになっている。

①大学学部（昼間部）等

令和2年度調査（以下「前回調査」という。）と比較すると、大学学部（昼間部）で0.6ポイント増、大学学部（夜間部）はほぼ変化なし、短期大学（昼間部）で4.1ポイント減、短期大学（夜間部）で0.5ポイント増となっている。

②大学院

前回調査と比較すると、修士課程で1.1ポイント減、博士課程で1.1ポイント減、専門職学位課程で3.7ポイント増となっている。

表1 年間学生生活費

[単位:円]

区分		大学学部		短期大学		大学院		
		昼間部	夜間部	昼間部	夜間部	修士課程	博士課程	専門職学位課程
学 費	授業料	869,200	394,400	704,200	474,000	605,100	376,900	782,000
	その他の学校納付金	136,800	39,100	160,000	58,800	32,000	20,500	40,300
	修学費	49,900	35,200	52,000	30,000	46,300	113,300	95,700
	課外活動費	23,700	14,400	4,100	12,800	11,200	11,500	12,800
	通学費	67,700	74,400	82,900	61,800	60,500	68,200	67,900
	計	1,147,300	557,500	1,003,200	637,400	755,100	590,400	998,700
生 活 費	食費	158,400	180,700	96,200	101,800	266,800	425,200	332,100
	住居・光熱費	177,500	208,100	95,200	139,300	307,400	467,600	302,800
	保健衛生費	50,700	58,100	51,500	39,900	53,200	93,900	70,200
	娯楽・嗜好費	133,000	157,900	100,500	111,900	165,200	238,700	202,100
	その他の日常費	157,800	207,500	145,800	126,200	184,000	412,600	347,000
	計	677,400	812,300	489,200	519,100	976,600	1,638,000	1,254,200
合 計		(0.6)	(△0.0)	(△4.1)	(0.5)	(△1.1)	(△1.1)	(3.7)
		1,824,700	1,369,800	1,492,400	1,156,500	1,731,700	2,228,400	2,252,900
参 考	令和2年度	1,813,000	1,370,100	1,555,900	1,150,300	1,750,600	2,254,300	2,173,500
	平成30年度	1,913,500	1,398,700	1,627,600	1,252,400	1,788,800	2,299,900	2,287,200
	平成28年度	1,884,200	1,504,900	1,587,300	1,295,200	1,763,500	2,250,700	2,331,600
	平成26年度	1,862,100	1,425,900	1,580,500	1,202,700	1,750,200	2,162,000	2,289,100

(注) ()は、令和2年度調査の金額を基準とした増減率である。

(2) 学生生活費の推移（表2、図1）

①大学学部（昼間部）

学生生活費について学費と生活費に分けて前回調査と比較すると、学費は0.1ポイント減、生活費は2.0ポイント増となっている。

②短期大学（昼間部）

学生生活費について学費と生活費に分けて前回調査と比較すると、学費は5.5ポイント減、生活費は1.0ポイント減となっている。

③大学院

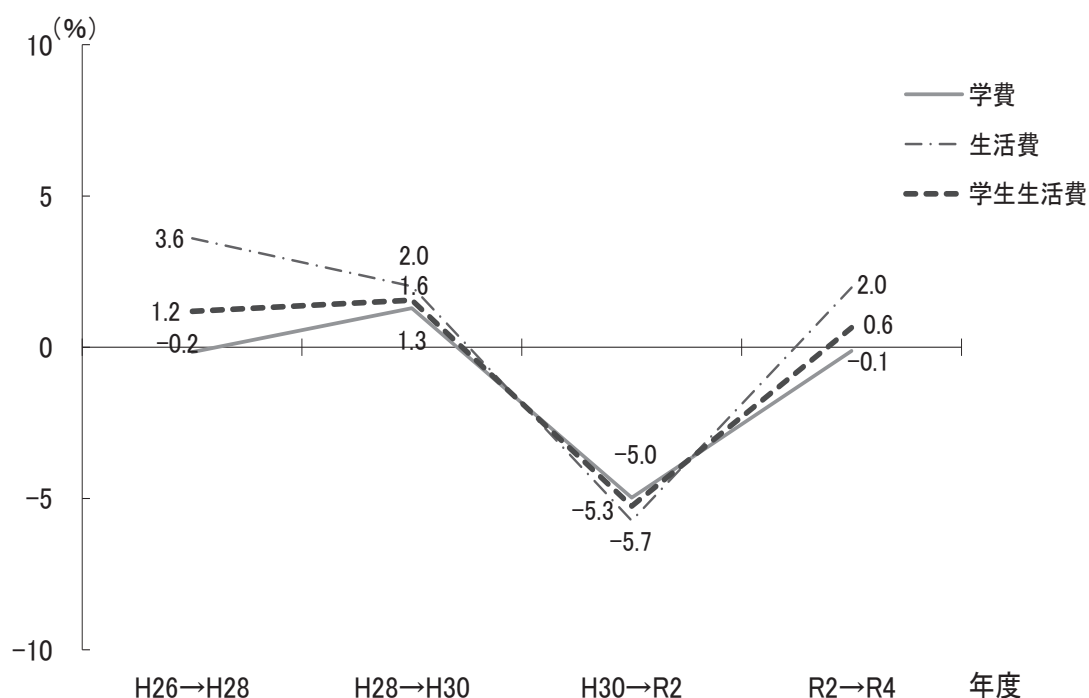
学生生活費について学費と生活費に分けて前回調査と比較すると、学費は修士課程で1.1ポイント増、博士課程で7.2ポイント減、専門職学位課程で4.0ポイント増となっており、生活費は修士課程で2.7ポイント減、博士課程で1.2ポイント増、専門職学位課程で3.4ポイント増となっている。

表2 学生生活費の推移

[単位:円]

区分		年度	平成28年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度
大（ 屋 学 間 学 部）	学	授業料及びその他の学校納付金	(0.2)	(1.4)	(△2.3)	(△3.0)
			1,046,500	1,061,600	1,036,900	1,006,000
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△2.5)	(0.2)	(△24.0)	(26.4)
			146,900	147,200	111,800	141,300
	計		(△0.2)	(1.3)	(△5.0)	(△0.1)
			1,193,400	1,208,800	1,148,700	1,147,300
	生	食費、住居・光熱費	(2.2)	(0.7)	(△4.4)	(△4.3)
			364,500	367,200	350,900	335,900
短（ 屋 期 間 大 部 学）	学	授業料及びその他の学校納付金	(△0.8)	(△0.2)	(△1.9)	(△7.8)
			957,300	955,400	937,400	864,200
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△5.2)	(1.8)	(△7.5)	(11.8)
			132,000	134,400	124,300	139,000
	計		(△1.3)	(0.0)	(△2.6)	(△5.5)
			1,089,300	1,089,800	1,061,700	1,003,200
	生	食費、住居・光熱費	(5.3)	(8.3)	(△9.8)	(△2.9)
			201,800	218,500	197,100	191,400
大 学	学	授業料及びその他の学校納付金	(△0.5)	(0.6)	(△0.6)	(△1.3)
			645,800	649,500	645,600	637,100
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△3.7)	(0.4)	(△20.4)	(16.5)
			126,700	127,200	101,300	118,000
	計		(△1.0)	(0.5)	(△3.8)	(1.1)
			772,500	776,700	746,900	755,100
	生	食費、住居・光熱費	(2.5)	(0.6)	(△0.6)	(△5.7)
			608,800	612,600	608,700	574,200
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△2.8)	(△1.9)	(△0.3)	(△14.4)
			475,000	465,900	464,500	397,400
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△5.1)	(△1.6)	(△15.6)	(12.3)
			207,100	203,700	171,900	193,000
	計		(△3.5)	(△1.8)	(△5.0)	(△7.2)
			682,100	669,600	636,400	590,400
	生	食費、住居・光熱費	(6.1)	(2.1)	(△1.9)	(4.3)
			855,500	873,300	856,300	892,800
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,400
	計		(△6.9)	(△3.2)	(△8.7)	(4.0)
			1,086,500	1,052,000	960,700	998,700
	生	食費、住居・光熱費	(6.9)	(△4.7)	(△6.6)	(11.3)
			640,400	610,400	570,300	634,900
大 学 院	学	授業料及びその他の学校納付金	(△7.3)	(△2.6)	(△5.8)	(△0.5)
			901,100	877,300	826,800	822,300
	費	修学費、課外活動費、通学費	(△4.9)	(△5.8)	(△23.4)	(31.7)
			185,400	174,700	133,900	176,4

図1 学生生活費の増減率の推移（大学学部（昼間部））



（3）設置者別の学生生活費（表3）

①大学学部（昼間部）

学費と生活費を合わせた学生生活費の合計では、私立が国立より約 48 万円高くなっている。これは学費の差によるところが大きい。生活費については、国立・公立が私立よりも高くなっているが、その差の主な要因は「食費、住居・光熱費」となっており、自宅以外の学生の割合が高いためと考えられる。

②短期大学（昼間部）

学生生活費の合計では、私立が公立より約 53 万円高くなっており、これは学費の差によるところが大きい。

③大学院

学生生活費の合計では、私立が国立より修士課程は約 34 万円、博士課程は約 26 万円、専門職学位課程は約 115 万円高くなっており、いずれも学費の差によるところが大きい。

表3 設置者別の学生生活費

[単位：円]

区 分		学 費			生 活 費			合 計	
		授業料、 その他の 学校納付金	修学費、 課外活動費、 通学費	小 計	食費、 住居・光熱費	保健衛生費、 娯楽・し好費、 その他の日常費	小 計		
大学学部 (昼間部)	国 立	480,100	118,500	598,600	521,000	340,900	861,900	1,460,500	
	公 立	465,700	117,300	583,000	429,600	323,800	753,400	1,336,400	
	私 立	1,160,100	148,000	1,308,100	288,700	342,800	631,500	1,939,600	
	平 均	1,006,000	141,300	1,147,300	335,900	341,500	677,400	1,824,700	
短期大学 (昼間部)	国 立	...	...	...	...	...	...	...	
	公 立	337,300	88,900	426,200	305,800	256,300	562,100	988,300	
	私 立	893,100	141,800	1,034,900	185,100	300,000	485,100	1,520,000	
	平 均	864,200	139,000	1,003,200	191,400	297,800	489,200	1,492,400	
大 学 院	修士課程	国 立	481,900	102,800	584,700	643,900	392,000	1,035,900	1,620,600
		公 立	475,700	116,100	591,800	536,400	390,600	927,000	1,518,800
		私 立	938,100	144,800	1,082,900	459,800	422,800	882,600	1,965,500
		平 均	637,100	118,000	755,100	574,200	402,400	976,600	1,731,700
	博士課程	国 立	303,000	186,000	489,000	935,600	730,400	1,666,000	2,155,000
		公 立	459,900	179,600	639,500	877,300	812,700	1,690,000	2,329,500
		私 立	658,500	216,100	874,600	771,400	772,500	1,543,900	2,418,500
		平 均	397,400	193,000	590,400	892,800	745,200	1,638,000	2,228,400
	専門職 学位課程	国 立	512,500	173,000	685,500	601,500	434,500	1,036,000	1,721,500
		公 立	497,700	170,300	668,000	536,500	580,600	1,117,100	1,785,100
		私 立	1,186,400	180,400	1,366,800	677,600	827,700	1,505,300	2,872,100
		平 均	822,300	176,400	998,700	634,900	619,300	1,254,200	2,252,900

(4) 居住形態別の学生数の割合 (表4)

居住形態別学生数の割合は、大学学部（昼間部）の平均では、自宅に居住して通学する者（以下「自宅」という。）が59.1%、学寮に居住する者（以下「学寮」という。）が5.7%、下宿、アパート等に居住する者（以下「アパート等」という。）が35.2%となっており、自宅の割合が最も高くなっている。

短期大学（昼間部）の平均では、自宅75.1%、学寮4.4%、アパート等20.5%と自宅の割合が最も高く、すべての学校区分の中でも、その割合は最も高くなっている。

大学院については、修士課程の平均で自宅45.7%、学寮4.0%、アパート等50.3%、博士課程の平均で自宅50.4%、学寮2.2%、アパート等47.5%、専門職学位課程の平均で自宅67.1%、学寮3.3%、アパート等29.6%となっている。

さらに設置者別に見てみると、いずれの学校区分でも、私立は自宅の割合が高くなっている。また、大学学部（昼間部）、修士課程では、国立でアパート等の割合が高くなっている。

表4 居住形態別学生数の割合

[単位：％]

単位：%

区分		自宅	学寮	アパート等	計	
大学学部 (昼間部)	国 立	32.3	7.3	60.4	100.0	
	公 立	41.0	3.7	55.2	100.0	
	私 立	66.0	5.4	28.6	100.0	
	平 均	59.1	5.7	35.2	100.0	
短期大学 (昼間部)	国 立	...	...	...	...	
	公 立	46.7	7.3	46.1	100.0	
	私 立	76.7	4.3	19.1	100.0	
	平 均	75.1	4.4	20.5	100.0	
大 学 院	修士課程	国 立	34.1	5.2	60.7	100.0
		公 立	46.8	3.2	50.0	100.0
		私 立	63.6	2.2	34.2	100.0
		平 均	45.7	4.0	50.3	100.0
	博士課程	国 立	46.0	2.6	51.4	100.0
		公 立	53.3	2.0	44.7	100.0
		私 立	61.3	1.2	37.6	100.0
		平 均	50.4	2.2	47.5	100.0
	専門職 学位課程	国 立	50.2	6.0	43.8	100.0
		公 立	72.0	10.0	18.0	100.0
		私 立	78.5	1.1	20.4	100.0
		平 均	67.1	3.3	29.6	100.0

(5) 居住形態別の学生生活費（表5、図2）

①大学学部（昼間部）

居住形態別の学生生活費は、国立・公立・私立いずれもアパート等が最も高く、国立の自宅を基準とした場合の1.46～2.22倍となっており、自宅との差額は、それぞれ国立約60万円、公立約58万円、私立約67万円となっている。学寮は、国立・公立・私立いずれも自宅とアパート等の中間にあって、国立の自宅を基準とした場合の1.20～1.87倍となっている。

自宅と学寮、アパート等の学生生活費の差は、主として食費、住居・光熱費による差が大きく、これを大学学部（昼間部）の平均を例にとって月額で示したものが図2である。また、学寮とアパート等の差についても、住居・光熱費による差が大きく、学寮と比較すると、アパート等で月額約1.5万円高くなっている。

②短期大学（昼間部）

居住形態別の学生生活費は、公立・私立いずれもアパート等が高く、公立の自宅を基準とした場合の1.56～2.36倍となっており、自宅との差額は、それぞれ公立約44万円、私立約41万円となっている。

③大学院

居住形態別の学生生活費は、すべての課程において、国立・公立・私立いずれもアパート等が最も高くなっている。

国立の自宅と私立のアパート等の差は、修士課程で1.99倍、博士課程で1.52倍、専門職学位課程で2.30倍となっている。

表5 居住形態別学生生活費

[単位：円]

【単位：円】

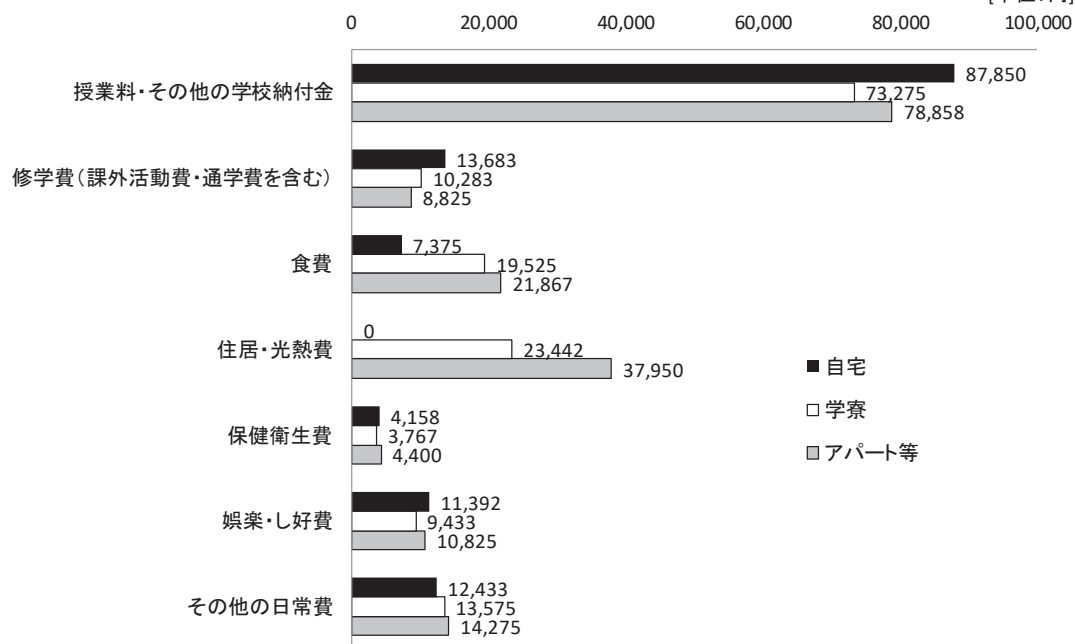
区 分		自 宅		学 寮		アパート等		
大学学部 （昼間部）	国立	1,082,600	（1.00）	1,297,900	（1.20）	1,681,800	（1.55）	
	公立	998,900	（0.92）	1,390,900	（1.28）	1,583,400	（1.46）	
	私立	1,731,800	（1.60）	2,021,100	（1.87）	2,403,800	（2.22）	
	平均	1,642,700		1,839,600		2,124,000		
短期大学 （昼間部）	国立	…	…	…	…	…	…	
	公立	777,500	（1.00）	917,900	（1.18）	1,212,900	（1.56）	
	私立	1,424,200	（1.83）	1,849,300	（2.38）	1,831,800	（2.36）	
	平均	1,403,300		1,769,700		1,758,900		
大 学 院	修士課程	国立	1,197,400	（1.00）	1,414,900	（1.18）	1,849,600	（1.54）
		公立	1,187,400	（0.99）	1,522,600	（1.27）	1,777,300	（1.48）
		私立	1,697,800	（1.42）	2,140,800	（1.79）	2,384,400	（1.99）
		平均	1,441,300		1,563,500		1,971,700	
	博士課程	国立	1,790,900	（1.00）	2,011,300	（1.12）	2,308,400	（1.29）
		公立	2,125,600	（1.19）	1,961,500	（1.10）	2,450,100	（1.37）
		私立	2,090,600	（1.17）	2,131,300	（1.19）	2,724,000	（1.52）
		平均	1,914,200		2,024,500		2,396,500	
	専門職 学位課程	国立	1,401,400	（1.00）	1,508,000	（1.08）	1,989,800	（1.42）
		公立	1,766,600	（1.26）	—	（—）	1,958,500	（1.40）
		私立	2,677,800	（1.91）	—	（—）	3,218,700	（2.30）
		平均	2,130,100		1,624,800		2,452,100	

(注) 1. () は、国立(短期大学では公立)の自宅を基準(1.00)とした場合の比率である。

2. 大学院専門職学位課程「学寮」の公立及び私立は、計数が僅少のため集計結果の揭示を省略した。

図2 居住形態別学生生活費の支出状況(月額) (大学学部(昼間部)平均)

[単位：円]



(注) 自宅生は住居・光熱費のデータなし。

(6) 地域別・居住形態別学生生活費（表6、図3）

大学学部（昼間部）の学生生活費を通してのキャンパスの所在地別に比較すると、国公立平均では、「東京圏（注1）」が最も高く、「京阪神（注1）」、「その他」の順となっている。設置者別・居住形態別に見てみると、最も高いのは私立「東京圏」のアパート等で約270.9万円となっている。

短期大学（昼間部）については、設置者別・居住形態別に見てみると、最も高いのは私立「東京圏」のアパート等で約204.2万円となっている。

大学院の国公立平均では、修士課程、博士課程、専門職学位課程のいずれも「東京圏」が最も高くなっている。

表6 地域別・居住形態別学生生活費

[単位:円]

区 分		東京圏			京阪神			その他			全国平均		
		学費	生活費	合計	学費	生活費	合計	学費	生活費	合計	学費	生活費	合計
大学学部（昼間部）	国公立平均	1,378,500	655,000	2,033,500	1,174,900	646,100	1,821,000	999,300	699,900	1,699,200	1,147,300	677,400	1,824,700
	国 立												
	自宅学寮	727,700	448,000	1,175,700	654,400	471,100	1,125,500	636,200	405,900	1,042,100	657,200	425,400	1,082,600
	アパート等	551,800	862,800	1,414,600	471,100	1,110,900	1,582,000	460,500	794,200	1,254,700	473,100	824,800	1,297,900
	平均	601,200	1,322,700	1,923,900	573,000	1,163,100	1,736,100	581,300	1,065,100	1,646,400	582,400	1,099,400	1,681,800
	公立												
	自宅学寮	641,300	404,600	1,045,900	621,800	458,000	1,079,800	611,100	366,100	977,200	614,800	384,100	998,900
	アパート等	-	-	-	603,800	884,800	1,488,600	587,500	794,900	1,382,400	588,800	802,100	1,390,900
	平均	496,100	1,252,300	1,748,400	614,700	1,090,200	1,704,900	556,900	1,011,600	1,568,500	559,000	1,024,400	1,583,400
	私立												
	自宅学寮	1,426,700	436,200	1,862,900	1,286,900	412,300	1,699,200	1,191,200	421,500	1,612,700	1,305,700	426,100	1,731,800
	アパート等	1,318,900	937,100	2,256,000	978,500	813,100	1,791,600	1,132,500	792,600	1,925,100	1,178,700	842,400	2,021,100
	平均	1,503,400	1,205,700	2,709,100	1,343,400	1,123,400	2,466,800	1,242,200	969,300	2,211,500	1,338,100	1,065,700	2,403,800
短期大学（昼間部）	公立平均	1,439,400	638,400	2,077,800	1,291,800	613,700	1,905,500	1,204,500	632,300	1,836,800	1,308,100	631,500	1,939,600
	公立平均	1,112,100	509,900	1,622,000	1,072,700	455,400	1,528,100	951,600	491,600	1,443,200	1,003,200	489,200	1,492,400
	公立												
	自宅	...	...	...	...	...	...	476,500	301,000	777,500	476,500	301,000	777,500
	アパート等	...	...	...	...	...	...	385,300	827,600	1,212,900	385,300	827,600	1,212,900
	私立												
大学院	公立												
	自宅	1,122,200	424,500	1,546,700	1,094,700	337,700	1,432,400	1,025,700	349,100	1,374,800	1,060,200	364,000	1,424,200
	アパート等	1,057,700	984,200	2,041,900	945,400	914,800	1,860,200	920,600	863,400	1,784,000	943,300	888,500	1,831,800
	私立												
	自宅	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	アパート等	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	修士課程												
	国公立平均	944,500	942,900	1,887,400	771,100	969,500	1,740,600	619,000	1,002,700	1,621,700	755,100	976,600	1,731,700
	国立												
	自宅	725,100	556,600	1,281,700	666,500	479,100	1,145,600	655,500	501,400	1,156,900	680,800	516,600	1,197,400
	アパート等	605,400	1,448,100	2,053,500	551,900	1,380,300	1,932,200	536,000	1,239,900	1,775,900	550,400	1,299,200	1,849,600
	公立												
	自宅	665,700	585,000	1,250,700	585,400	562,500	1,147,900	681,100	511,600	1,192,700	650,800	536,600	1,187,400
	アパート等	555,200	1,539,600	2,094,800	525,400	1,185,200	1,710,600	557,600	1,218,600	1,776,200	549,600	1,227,700	1,777,300
	私立												
	自宅	1,195,200	600,500	1,795,700	1,101,000	560,600	1,661,600	895,200	561,500	1,456,700	1,114,300	583,500	1,697,800
	アパート等	1,126,100	1,399,200	2,525,300	920,600	1,232,900	2,153,500	949,200	1,371,200	2,320,400	1,033,700	1,350,700	2,384,400
	博士課程												
	国公立平均	688,100	1,608,000	2,296,100	549,400	1,643,800	2,193,200	524,600	1,661,400	2,186,000	590,400	1,638,000	2,228,400
	国立												
	自宅	652,000	1,129,700	1,781,700	681,900	1,295,500	1,977,400	564,700	1,152,800	1,717,500	621,800	1,169,100	1,790,900
	アパート等	476,200	2,027,400	2,503,600	350,600	1,824,900	2,175,500	440,900	1,821,500	2,262,400	431,900	1,876,500	2,308,400
	公立												
	自宅	684,200	1,121,200	1,805,400	679,400	1,482,100	2,161,500	788,600	1,434,800	2,223,400	727,700	1,397,900	2,125,600
	アパート等	508,100	1,846,600	2,354,700	539,600	1,989,500	2,529,100	629,300	1,799,500	2,428,800	588,200	1,861,900	2,450,100
	私立												
	自宅	952,000	1,129,200	2,081,200	940,800	1,008,700	1,949,500	842,100	1,442,800	2,284,900	931,700	1,158,900	2,090,600
	アパート等	838,800	1,894,100	2,732,900	805,900	1,956,200	2,762,100	807,900	1,863,800	2,671,700	825,900	1,898,100	2,724,000
	専門職学位課程												
	国公立平均	1,180,800	1,500,800	2,681,600	941,800	1,004,700	1,946,500	758,700	1,034,300	1,793,000	998,700	1,254,200	2,252,900
	国立												
	自宅	803,400	610,100	1,413,500	874,300	560,500	1,434,800	675,700	691,700	1,367,400	772,900	628,500	1,401,400
	アパート等	723,200	1,674,700	2,397,900	687,000	1,260,700	1,947,700	573,400	1,215,800	1,789,200	639,600	1,350,200	1,989,800
	公立												
	自宅	634,100	1,348,400	1,982,500	801,500	768,100	1,569,600	443,500	529,000	972,500	651,000	1,115,600	1,766,600
	アパート等	758,400	1,454,300	2,212,700	697,700	997,600	1,695,300	622,500	1,222,500	1,845,000	707,900	1,250,600	1,958,500
	私立												
	自宅	1,442,700	1,385,800	2,828,500	1,315,500	910,300	2,225,800	1,353,400	1,026,600	2,380,000	1,411,800	1,266,000	2,677,800
	アパート等	1,329,900	2,232,000	3,561,900	1,155,300	1,412,200	2,567,500	1,275,800	1,266,200	2,542,000	1,287,900	1,930,800	3,218,700

(注) 1. 「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

2. 短期大学(昼間部)、大学院の各課程の学寮については、ページの都合で省略した。

3. 大学院は、「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

学生生活費

■生活費
□学費

[単位:千円]

地域	学費	生活費	合計
東京圏	1,379	655	2,034
京阪神	1,175	646	1,821
その他	999	700	1,699
平均	1,147	677	1,825
国立	728	448	1,176
学費	552	863	1,415
アパート等	601	1,323	1,924
平均	659	867	1,526
京阪神	654	471	1,126
学費	471	1,111	1,582
アパート等	573	1,163	1,736
平均	607	837	1,444
その他	636	406	1,042
学費	461	794	1,255
アパート等	581	1,065	1,646
平均	587	865	1,452
東京圏	1,427	436	1,863
学費	1,319	937	2,256
アパート等	1,503	1,206	2,709
平均	1,439	638	2,078
京阪神	1,287	412	1,699
学費	979	813	1,792
アパート等	1,343	1,123	2,467
平均	1,292	614	1,906
その他	1,191	422	1,613
学費	1,133	793	1,925
アパート等	1,242	969	2,212
平均	1,205	632	1,837

(7) 男女別・居住形態別学生生活費 (表7)

短期大学（昼間部）の学生生活費については、学寮では、男子より女子のほうが高くなっているが、私立の自宅、私立のアパート等では、女子より男子のほうが高くなっている。

大学院の学生生活費については、大学学部（昼間部）と同様に男子より女子のほうが高い傾向となっているが、修士課程の私立の自宅、博士課程の私立の学寮及びアパート等、専門職学位課程の国立のアパート等では、女子より男子のほうが高くなっている。

表7 男女別・居住形態別学生生活費

[単位:円]

区 分				学 費			生 活 費				合 計
				授 業 料 学校納付金 (割合)	修 学 費 課外活動費 通 学 費 (割合)	小 計	食 費 住居・光熱費 (割合)	保健衛生費 娯楽・嗜好費 その他の日常費 (割合)	小 計		
大学学部（昼間部）	国立	男	自 宅	473,700 (44.2%)	160,800 (15.0%)	634,500	103,200 (9.6%)	334,100 (31.2%)	437,300	1,071,800	
			学 寮	414,600 (32.4%)	82,700 (6.5%)	497,300	496,700 (38.8%)	286,900 (22.4%)	783,600	1,280,900	
			アパート等	490,500 (29.3%)	95,800 (5.7%)	586,300	761,000 (45.5%)	324,600 (19.4%)	1,085,600	1,671,900	
	私立	女	自 宅	494,800 (45.2%)	185,700 (17.0%)	680,500	84,600 (7.7%)	328,500 (30.0%)	413,100	1,093,600	
			学 寮	359,500 (27.2%)	81,700 (6.2%)	441,200	495,900 (37.5%)	383,900 (29.1%)	879,800	1,321,000	
			アパート等	486,300 (28.7%)	90,900 (5.4%)	577,200	739,500 (43.6%)	378,300 (22.3%)	1,117,800	1,695,000	
	国立	男	自 宅	1,125,800 (66.3%)	154,700 (9.1%)	1,280,500	99,400 (5.9%)	319,200 (18.8%)	418,600	1,699,100	
			学 寮	861,100 (48.1%)	160,800 (9.0%)	1,021,900	526,100 (29.4%)	243,000 (13.6%)	769,100	1,791,000	
			アパート等	1,246,900 (52.2%)	110,500 (4.6%)	1,357,400	707,000 (29.6%)	325,200 (13.6%)	1,032,200	2,389,600	
私立	女	自 宅	1,154,600 (65.8%)	169,800 (9.7%)	1,324,400	80,300 (4.6%)	351,200 (20.0%)	431,500	1,755,900		
		学 寮	1,228,400 (54.3%)	114,600 (5.1%)	1,343,000	517,200 (22.9%)	401,600 (17.8%)	918,800	2,261,800		
		アパート等	1,201,200 (49.7%)	118,000 (4.9%)	1,319,200	706,100 (29.2%)	392,600 (16.2%)	1,098,700	2,417,900		
短期大学（昼間部）	国立	男	自 宅	290,500 (48.7%)	99,100 (16.6%)	389,600	56,100 (9.4%)	151,100 (25.3%)	207,200	596,800	
			学 寮	199,300 (42.4%)	33,000 (7.0%)	232,300	133,200 (28.3%)	104,400 (22.2%)	237,600	469,900	
			アパート等	287,600 (24.2%)	43,700 (3.7%)	331,300	576,600 (48.6%)	279,600 (23.5%)	856,200	1,187,500	
	私立	女	自 宅	349,400 (43.9%)	136,400 (17.1%)	485,800	48,400 (6.1%)	262,500 (32.9%)	310,900	796,700	
			学 寮	301,900 (31.2%)	75,000 (7.8%)	376,900	312,000 (32.3%)	277,800 (28.7%)	589,800	966,700	
			アパート等	345,200 (28.4%)	47,800 (3.9%)	393,000	566,200 (46.5%)	257,300 (21.2%)	823,500	1,216,500	
	国立	男	自 宅	959,500 (65.3%)	171,000 (11.6%)	1,130,500	80,900 (5.5%)	258,600 (17.6%)	339,500	1,470,000	
			学 寮	568,300 (50.0%)	83,400 (7.3%)	651,700	276,300 (24.3%)	209,600 (18.4%)	485,900	1,137,600	
			アパート等	946,000 (51.0%)	65,400 (3.5%)	1,011,400	560,000 (30.2%)	284,600 (15.3%)	844,600	1,856,000	
私立	女	自 宅	894,500 (63.0%)	159,800 (11.2%)	1,054,300	66,000 (4.6%)	300,200 (21.1%)	366,200	1,420,500		
		学 寮	916,300 (48.8%)	86,200 (4.6%)	1,002,500	573,200 (30.5%)	301,000 (16.0%)	874,200	1,876,700		
		アパート等	848,200 (46.4%)	81,100 (4.4%)	929,300	578,400 (31.7%)	319,100 (17.5%)	897,500	1,826,800		
大学院修士課程	国立	男	自 宅	496,200 (42.5%)	161,200 (13.8%)	657,400	167,200 (14.3%)	343,700 (29.4%)	510,900	1,168,300	
			学 寮	373,000 (26.6%)	61,700 (4.4%)	434,700	547,000 (39.0%)	420,900 (30.0%)	967,900	1,402,600	
			アパート等	467,200 (26.0%)	76,500 (4.3%)	543,700	887,400 (49.4%)	365,800 (20.4%)	1,253,200	1,796,900	
	私立	女	自 宅	566,300 (44.6%)	172,500 (13.6%)	738,800	117,900 (9.3%)	413,000 (32.5%)	530,900	1,269,700	
			学 寮	336,400 (22.9%)	69,800 (4.8%)	406,200	631,900 (43.1%)	428,700 (29.2%)	1,060,600	1,466,800	
			アパート等	495,600 (24.9%)	72,800 (3.7%)	568,400	918,000 (46.1%)	504,500 (25.3%)	1,422,500	1,990,900	
	国立	男	自 宅	986,900 (57.7%)	157,200 (9.2%)	1,144,100	164,300 (9.6%)	401,200 (23.5%)	565,500	1,709,600	
			学 寮	797,200 (41.6%)	57,700 (3.0%)	854,900	724,800 (37.8%)	338,100 (17.6%)	1,062,900	1,917,800	
			アパート等	912,900 (39.8%)	102,600 (4.5%)	1,015,500	895,400 (39.0%)	382,200 (16.7%)	1,277,600	2,293,100	
私立	女	自 宅	897,400 (53.4%)	170,900 (10.2%)	1,068,300	143,900 (8.6%)	467,600 (27.8%)	611,500	1,679,800		
		学 寮	1,146,400 (48.2%)	145,300 (6.1%)	1,291,700	797,300 (33.5%)	290,500 (12.2%)	1,087,800	2,379,500		
		アパート等	916,700 (36.3%)	144,900 (5.7%)	1,061,600	977,900 (38.7%)	486,000 (19.2%)	1,463,900	2,525,500		
大学院博士課程	国立	男	自 宅	383,300 (21.9%)	220,700 (12.6%)	604,000	360,200 (20.6%)	785,400 (44.9%)	1,145,600	1,749,600	
			学 寮	290,900 (15.1%)	279,400 (14.5%)	570,300	751,300 (39.1%)	601,100 (31.3%)	1,352,400	1,922,700	
			アパート等	260,100 (11.6%)	148,900 (6.6%)	409,000	1,176,300 (52.4%)	659,800 (29.4%)	1,836,100	2,245,100	
	私立	女	自 宅	397,300 (21.0%)	266,800 (14.1%)	664,100	305,900 (16.2%)	919,200 (48.7%)	1,225,100	1,889,200	
			学 寮	286,200 (12.7%)	275,200 (12.2%)	561,400	706,700 (31.2%)	993,900 (43.9%)	1,700,600	2,262,000	
			アパート等	297,400 (11.9%)	199,800 (8.0%)	497,200	1,199,800 (48.2%)	792,100 (31.8%)	1,991,900	2,489,100	
	国立	男	自 宅	688,500 (36.1%)	258,700 (13.6%)	947,200	313,700 (16.5%)	645,300 (33.9%)	959,000	1,906,200	
			学 寮	596,800 (27.4%)	170,800 (7.9%)	767,600	833,400 (38.3%)	573,300 (26.4%)	1,406,700	2,174,300	
			アパート等	659,900 (24.2%)	182,000 (6.7%)	841,900	1,200,000 (43.9%)	689,700 (25.2%)	1,889,700	2,731,600	
私立	女	自 宅	676,800 (28.8%)	232,300 (9.9%)	909,100	322,500 (13.7%)	1,122,400 (47.7%)	1,444,900	2,354,000		
		学 寮	518,900 (24.7%)	269,200 (12.8%)	788,100	756,400 (36.0%)	554,900 (26.4%)	1,311,300	2,099,400		
		アパート等	601,900 (22.2%)	195,800 (7.2%)	797,700	1,149,700 (42.4%)	763,500 (28.2%)	1,913,200	2,710,900		
大学院専門職学位課程	国立	男	自 宅	555,500 (41.8%)	228,300 (17.2%)	783,800	168,100 (12.7%)	376,600 (28.3%)	544,700	1,328,500	
			学 寮	360,900 (26.1%)	110,700 (8.0%)	471,600	495,800 (35.9%)	413,300 (29.9%)	909,100	1,380,700	
			アパート等	529,400 (26.5%)	138,600 (6.9%)	668,000	937,800 (46.9%)	395,000 (19.7%)	1,332,800	2,000,800	
	私立	女	自 宅	543,900 (36.4%)	215,100 (14.4%)	759,000	181,300 (12.1%)	552,900 (37.0%)	734,200	1,493,200	
			学 寮	413,700 (22.9%)	258,500 (14.3%)	672,200	513,600 (28.5%)	618,400 (34.3%)	1,132,000	1,804,200	
			アパート等	451,600 (22.9%)	137,200 (7.0%)	588,800	932,200 (47.3%)	449,200 (22.8%)	1,381,400	1,970,200	
	国立	男	自 宅	1,202,800 (47.7%)	168,900 (6.7%)	1,371,700	381,500 (15.1%)	767,900 (30.5%)	1,149,400	2,521,100	
			学 寮	- (-)	- (-)	-	- (-)	- (-)	-	-	
			アパート等	1,113,400 (35.3%)	167,500 (5.3%)	1,280,900	1,229,300 (39.0%)	641,400 (20.4%)	1,870,700	3,151,600	
私立	女	自 宅	1,224,900 (42.8%)	233,300 (8.2%)	1,458,200	327,200 (11.4%)	1,073,900 (37.6%)	1,401,100	2,859,300		
		学 寮	- (-)	- (-)	-	- (-)	- (-)	-	-		
		アパート等	1,155,600 (35.0%)	140,600 (4.3%)	1,296,200	1,183,300 (35.9%)	819,200 (24.8%)	2,002,500	3,298,700		

(注) 1. 大学学部昼間部、大学院の各課程の公立については、ページの都合で省略した。
2. 大学院専門職学位課程「学寮」の私立は、計数が僅少のため集計結果の揭示を省略した。

(8) 学年別の学生生活費（表8）

学年別の学生生活費については、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）では、高学年になるにつれて学生生活費が高くなる傾向となっている。

大学学部（昼間部）の内訳を見ると、生活費が高学年になるにつれ高くなる傾向となっている。なお、1年次から4年次と比較して、5年次、6年次の学生生活費が特に高くなっているが、これは、5年次、6年次が医、歯、獣医、薬学部の学生であり、学費が高くなっているためである。

博士課程についても、高学年になるにつれて学生生活費が高くなる傾向となっている。なお、4年次は医・歯学等の4年制博士課程の学生であり、1年次から3年次と比較して、生活費が特に高くなっている。

表8 学年別の学生生活費

[単位:円]

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
大学学部 （昼間部）	学 費	1,158,600	1,095,800	1,138,300	1,080,400	2,384,500	2,258,200
	生活費	581,100	665,100	688,400	748,800	959,000	917,700
	計	1,739,700	1,760,900	1,826,700	1,829,200	3,343,500	3,175,900
短期大学 （昼間部）	学 費	1,008,300	995,200	1,057,800	...	...	...
	生活費	455,200	512,000	537,300	...	...	...
	計	1,463,500	1,507,200	1,595,100	...	...	...
大 学 院	修士課程	学 費	767,600	743,500	...	...	...
		生活費	956,400	1,000,100	...	...	...
		計	1,724,000	1,743,600	...	...	...
	博士課程	学 費	565,400	573,300	613,800	676,100	...
		生活費	1,559,300	1,680,300	1,598,700	2,118,500	...
		計	2,124,700	2,253,600	2,212,500	2,794,600	...
	学位課程 専門職	学 費	1,054,300	947,500	994,100	...	...
		生活費	1,301,600	1,258,100	1,032,800	...	...
		計	2,355,900	2,205,600	2,026,900	...	...

2. 学生の収入の状況（表9、図4）

学生生活費は、家庭からの給付、奨学金及びアルバイト収入などで賄われているが、それぞれの学校区分において、その収入の状況には差異が見られる（表9、図4参照）。

また、前回調査と収入の状況を比較したところ、専門職学位課程を除き、家庭からの給付の金額及び収入総額に占める割合がともに減少している。その一方で、すべての学校区分で、奨学金の金額及び収入総額に占める割合がともに増加している。

①大学学部（昼間部）

収入総額に占める割合では、「家庭からの給付」が最も高く 55.8%となっているが、前回調査と比較すると 3.6 ポイント減となっている。

収入総額に占める割合を設置者別に見てみると、公立のほうは国立・私立より「奨学金」が 2.2～2.7 ポイント高く、「アルバイト収入」も 3.5～7.0 ポイント高い一方、「家庭からの給付」は公立のほうは 5.0～8.3 ポイント低くなっている。収入総額は私立より公立のほうは約 59 万円低くなっているが、これは、「家庭からの給付」の差によるところが大きい。

男女別に見てみると、収入総額に占める割合に大きな差は見られないが、収入総額では男子より女子のほうは約 5.1 万円高くなっており、これも「家庭からの給付」の差によるところが大きい。

②短期大学（昼間部）

収入総額に占める割合では、「家庭からの給付」が最も高く 48.9%となっているが、前回調査と比較すると 2.2 ポイント減となっている。また、大学学部（昼間部）の収入総額に占める割合と比較したところ、「奨学金」は大学学部（昼間部）より 7.3 ポイント高い一方、「家庭からの給付」は 6.9 ポイント低くなっている。

③大学院（※）

修士課程の収入総額に占める割合では、「家庭からの給付」が最も高く 43.5%となっているが、前回調査と比較すると 4.0 ポイント減となっている。その一方で、博士課程の収入総額に占める割合では、「奨学金」が最も高く 36.2%、専門職学位課程の収入総額に占める割合では、「定職・その他」が最も高く、49.3%となっており、それぞれ前回調査と比較すると 12.4 ポイント増（博士課程）、2.1 ポイント減（専門職学位課程）となっている。

博士課程については、収入総額に占める「奨学金」の割合がすべての学校区分の中で最も高く 36.2%となっている。その一方で、収入総額に占める「家庭からの給付」の割合は、すべての学校区分の中で最も低く 8.0%となっている。

専門職学位課程については、収入総額に占める「定職・その他」の割合がすべての学校区分の中で最も高く、49.3%と特に高い割合となっている。その一方で、収入総額に占める「奨学金」「アルバイト収入」の割合は、すべての学校区分の中で最も低く、それぞれ 15.7%、8.1%となっている。

（※）大学院については、「配偶者あり」と回答した者を除き集計していることや、社会人学生が大学学部（昼間部）や短期大学（昼間部）と比較して多いこと等、資料の取扱いには留意を要する。

表9 収入及びその構成割合

[単位:円]

区 分		家庭からの給付	奨 学 金	アルバイト収入	定職・その他	収入総額
大学学部 (昼間部)	国 立	(53.3) 864,200	(20.2) 327,900	(21.8) 353,300	(4.6) 75,100	(100.0) 1,620,500
	公 立	(48.3) 718,000	(22.9) 340,900	(25.3) 375,600	(3.5) 52,700	(100.0) 1,487,200
	私 立	(56.6) 1,175,200	(20.7) 429,700	(18.3) 380,800	(4.4) 92,100	(100.0) 2,077,800
	男	(54.8) 1,063,200	(21.4) 414,200	(18.5) 358,100	(5.4) 104,300	(100.0) 1,939,800
	女	(56.6) 1,126,000	(20.2) 401,800	(19.7) 391,300	(3.6) 72,000	(100.0) 1,991,100
	平 均	(55.8) 1,096,900	(20.7) 407,600	(19.1) 375,900	(4.4) 87,000	(100.0) 1,967,400
	短期大学(昼間部)	(48.9) 792,900	(28.0) 453,800	(19.2) 311,600	(3.9) 62,400	(100.0) 1,620,700
大学院	修士課程	(43.5) 839,000	(22.3) 429,500	(20.5) 395,000	(13.7) 263,600	(100.0) 1,927,100
	博士課程	(8.0) 249,000	(36.2) 1,122,300	(19.8) 614,100	(36.0) 1,116,800	(100.0) 3,102,200
	専門職学位課程	(26.9) 775,600	(15.7) 451,800	(8.1) 233,400	(49.3) 1,419,100	(100.0) 2,879,900

(注) 1. ()は、収入総額に占める割合である。

2. 大学院の「アルバイト」には、TA(ティーチング・アシスタント)及びRA(リサーチ・アシスタント)を含む。

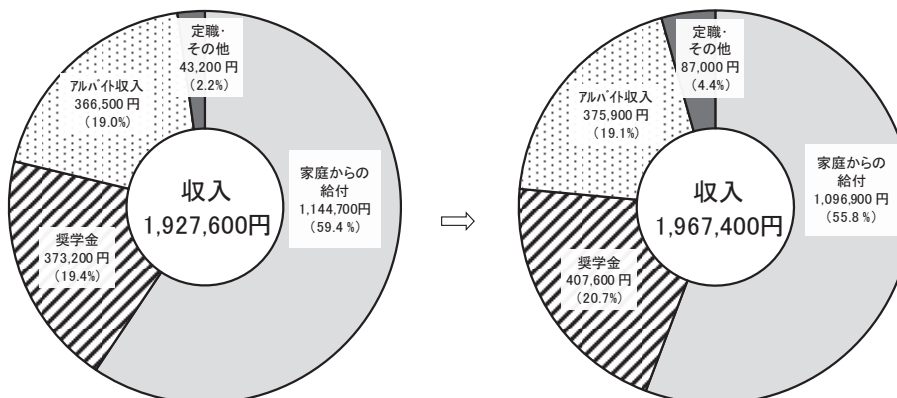
3. 大学院の「配偶者あり」と回答した者は、集計に含まない。

図4 収入額内訳

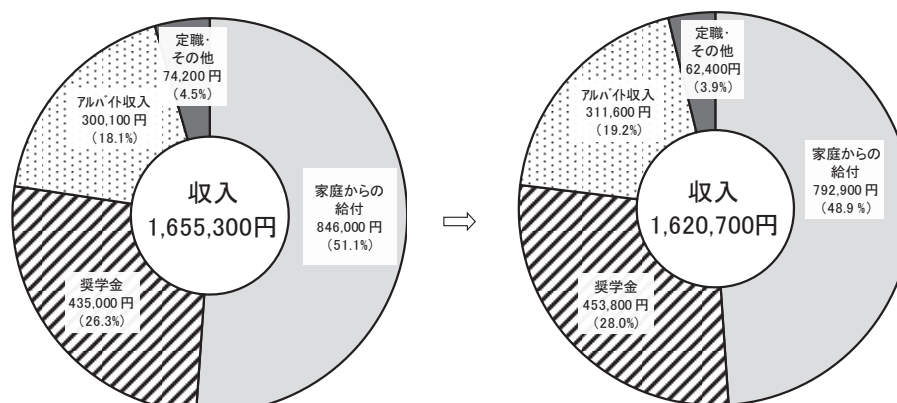
令和2年度

令和4年度

【大学学部(昼間部)】

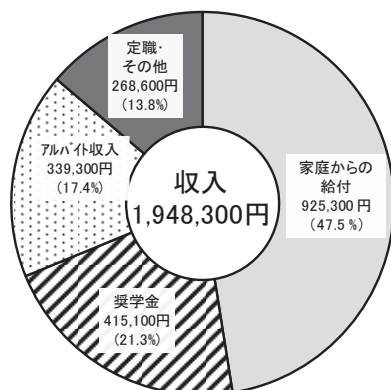


【短期大学(昼間部)】

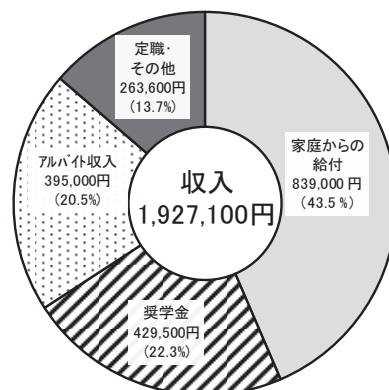


令和2年度

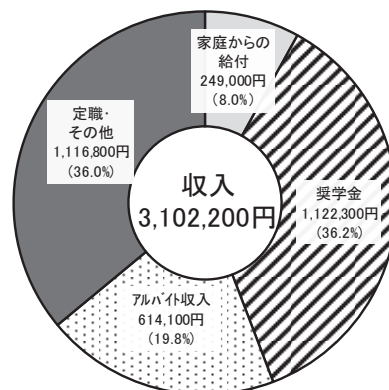
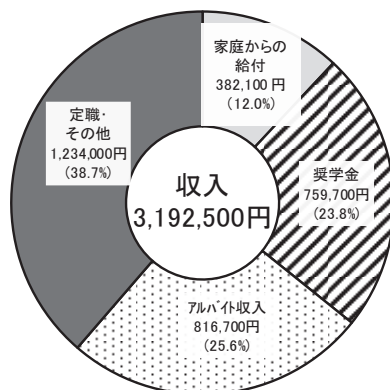
【大学院修士課程】



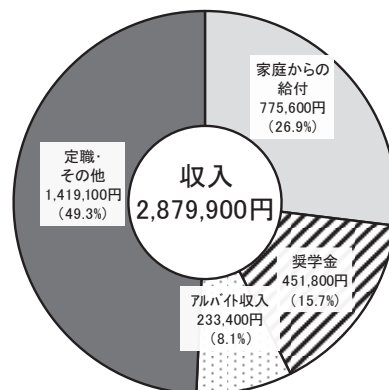
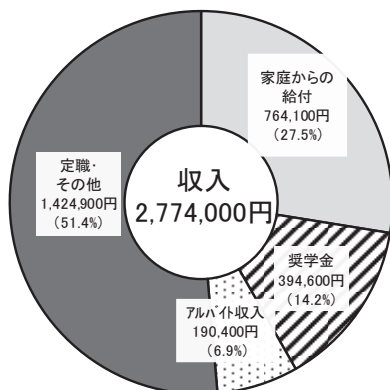
令和4年度



【大学院博士課程】



【大学院専門職学位課程】



3. 家庭からの給付額等

(1) 家庭からの給付（表10）

家庭からの給付額について前回調査と比較すると、専門職学位課程を除くすべての学校区分で減少している。

次に、学生生活費（支出額）を分母とした家庭からの給付の割合は、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）で50%を超えており、特に大学学部（昼間部）は60%台である一方、博士課程、専門職学位課程の割合は低くなっている。また、この割合を平成26年度以降で見ると、修士課程を除き減少傾向であり、特に短期大学（昼間部）では一貫して減少している。

表10 家庭からの給付額の推移

[単位:円]

区分		年度	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度
大学学部 (昼間部)	家庭からの給付額		1,193,800	1,180,700	1,196,600	1,144,700	1,096,900
	$\frac{\text{給付額}}{\text{学生生活費}} \times 100$		64.1 %	62.7 %	62.5 %	63.1 %	60.1 %
短期大学 (昼間部)	家庭からの給付額		931,300	913,900	893,100	846,000	792,900
	$\frac{\text{給付額}}{\text{学生生活費}} \times 100$		58.9 %	57.6 %	54.9 %	54.4 %	53.1 %
大 学 院	修士課程	家庭からの給付額	914,800	930,100	946,200	925,300	839,000
		$\frac{\text{給付額}}{\text{学生生活費}} \times 100$	52.3 %	52.7 %	52.9 %	52.9 %	48.4 %
	博士課程	家庭からの給付額	388,500	373,100	395,400	382,100	249,000
		$\frac{\text{給付額}}{\text{学生生活費}} \times 100$	18.0 %	16.6 %	17.2 %	16.9 %	11.2 %
	専門職学位課程	家庭からの給付額	914,900	862,300	899,100	764,100	775,600
		$\frac{\text{給付額}}{\text{学生生活費}} \times 100$	40.0 %	37.0 %	39.3 %	35.2 %	34.4 %

(2) 家庭の年間平均収入（表11）

家庭の年間平均収入を設置者別に見てみると、博士課程を除き公立の年間平均収入額が最も低くなっている。

各学校区分での年間平均収入額を比較すると、修士課程が最も高く854万円、短期大学（昼間部）が最も低く638万円となっており、前回調査と同じ傾向である。なお、大学院の集計では、「配偶者あり」と回答した者を含めないため、調査結果を利用する際は留意が必要である。

表11 家庭の年間平均収入

[単位：千円]

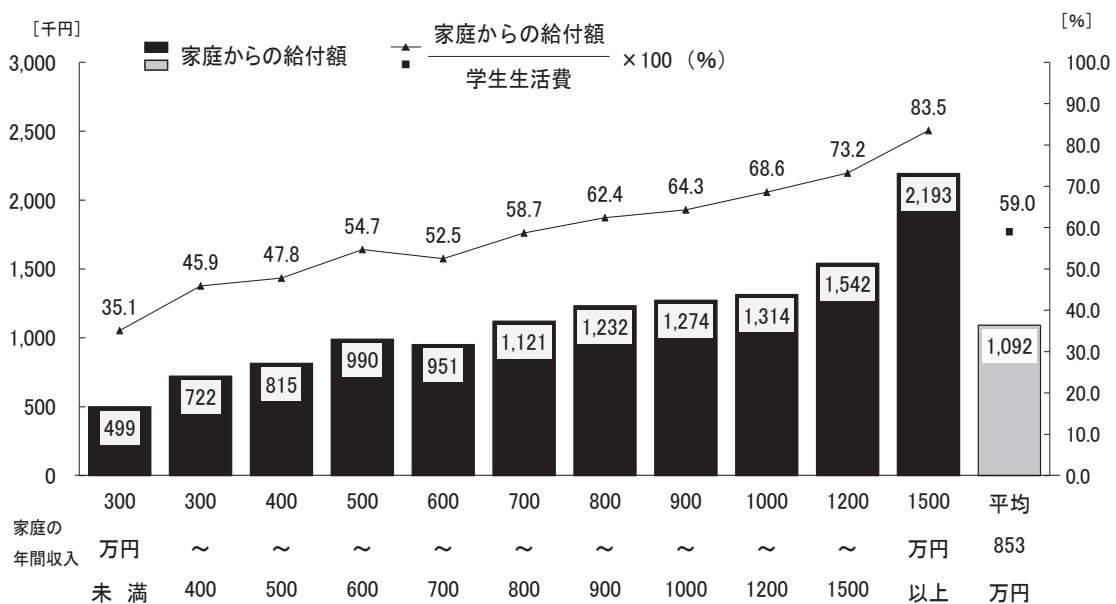
区 分		大学学部 (昼間部)	短期大学 (昼間部)	大 学 院		
				修士課程	博士課程	専門職 学位課程
令和4年度	国 立	8,470	...	8,680	5,880	7,510
	公 立	7,140	5,760	6,900	6,740	6,820
	私 立	8,640	6,420	8,610	9,320	7,860
	平 均	(2.2) 8,530	(△ 0.9) 6,380	(2.2) 8,540	(△ 14.2) 6,790	(△ 4.8) 7,660
令和2年度平均		(△ 3.1) 8,350	(0.6) 6,440	(△ 3.8) 8,360	(△ 0.4) 7,910	(△ 4.4) 8,050
平成30年度平均		(3.9) 8,620	(3.4) 6,400	(4.1) 8,690	(7.7) 7,940	(6.0) 8,420
平成28年度平均		(0.7) 8,300	(△ 5.9) 6,190	(5.6) 8,350	(0.4) 7,370	(△ 0.6) 7,940
平成26年度平均		(1.5) 8,240	(3.9) 6,580	(1.5) 7,910	(6.4) 7,340	(△ 22.1) 7,990

(注) () は、直前の調査との比較である(単位：%)。

(3) 家庭の年間収入別学生生活費に対する家庭からの給付の割合(図5)

大学学部(昼間部)について家庭の年間収入額と家庭からの給付額の間関係を見てみると、家庭の年間収入が高くなるにつれて家庭からの給付額も高く、また、学生生活費に対する家庭からの給付額の割合も高くなる傾向となっている。これらの傾向は、前回調査から変わっていない。

図5 家庭の年間収入別学生生活費に対する家庭からの給付の割合(大学学部(昼間部))



(4) 家庭の収入階層区分別学生数(大学学部(昼間部))の割合 (表12)

総務省の家計調査(令和4年)から全国全世帯の45～54歳の世帯主(学生の実家の世帯主年齢と想定)を抜き出し、その五分位階層区分(※)を推計し、これに大学学部(昼間部)の家庭の年間収入額別学生数を当てはめて各区分別学生数の割合を見たところ、表12のとおりとなった。

国立・公立・私立のいずれにおいても第Ⅰ五分位に最も高い分布を示しており、前回調査と比較するとそれぞれ4.8ポイント増(国立)、6.3ポイント増(公立)、7.1ポイント増(私立)となっている。

(※) 集計世帯を収入額の低いものから高いものへ順に並べ、その世帯数を5等分したもので、収入額の低いグループから高い方へ順に第Ⅰ五分位～第Ⅴ五分位と区分したもの。

表12 家庭の収入階層区分別学生数の割合【45～54歳の世帯主】(大学学部(昼間部))

[単位: %]

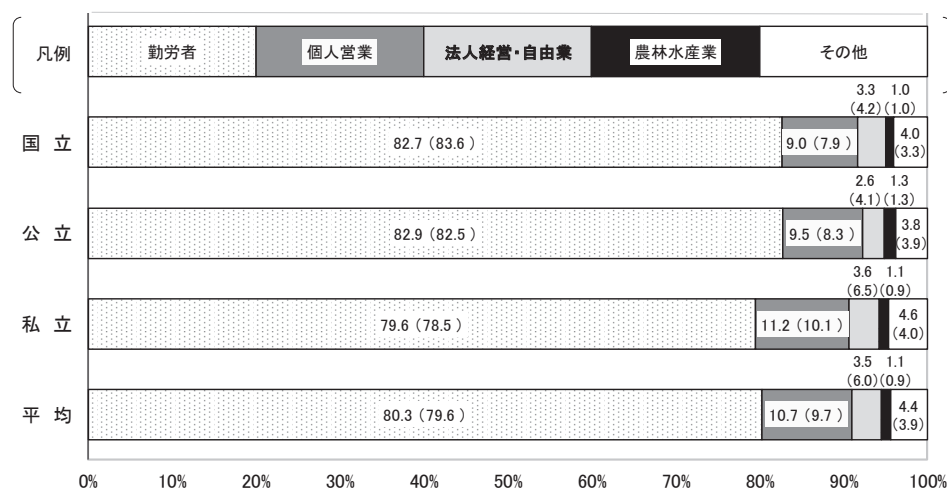
区 分	第Ⅰ五分位	第Ⅱ五分位	第Ⅲ五分位	第Ⅳ五分位	第Ⅴ五分位
	千円 (～5,330) 5,363未満	千円 (5,330～7,076) 5,363～7,020未満	千円 (7,076～8,649) 7,020～8,549未満	千円 (8,649～10,991) 8,549～11,011未満	千円 (10,991～) 11,011以上
国 立	(24.8) 29.6	(18.1) 15.5	(17.0) 14.8	(19.3) 21.9	(20.8) 18.2
公 立	(31.5) 37.8	(19.0) 18.9	(17.0) 13.6	(17.9) 18.9	(14.6) 10.7
私 立	(27.6) 34.7	(19.8) 18.1	(15.4) 13.3	(19.2) 19.5	(18.0) 14.4
平 均	(27.4) 34.1	(19.5) 17.7	(15.7) 13.5	(19.1) 19.9	(18.3) 14.8

(注) ()は、令和2年度調査の額及び割合である。

(5) 主たる家計支持者の世帯区分別学生数(大学学部(昼間部))の割合 (図6)

主たる家計支持者の世帯区分別学生数の割合は、国立・公立・私立いずれも勤労者世帯の割合が高くなっており、前回調査と比較して、その傾向に変わりはない。

図6 主たる家計支持者の世帯区分別学生数の割合(大学学部(昼間部))



(注) ()は、令和2年度調査の割合である。

4. アルバイトの従事状況

(1) アルバイトの従事状況（表13、図7）

調査時前の1年間に於いてアルバイトに従事した経験を有する者（以下「アルバイト従事者」という）の全学生に対する割合は、表13のとおりである。

アルバイト従事者の割合は、博士課程を除き、すべての学校区分で前回調査より増加しており、大学学部（昼間部）3.1ポイント増、短期大学（昼間部）3.0ポイント増、修士課程4.0ポイント増、博士課程2.6ポイント減、専門職学位課程3.8ポイント増となっている。

アルバイト従事者の内訳を見てみると、「家庭からの給付のみで修学可能」とする者の割合が、大学学部（昼間部）52.4%、短期大学（昼間部）50.9%、修士課程46.5%であるのに対し、博士課程18.6%、専門職学位課程26.4%となっている。前回調査と比較すると、「家庭からの給付のみで修学可能」とする者の割合は博士課程、専門職学位課程において減少しており、「家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し」については、短期大学（昼間部）、博士課程で減少している。

次に、表13におけるアルバイト従事者を分母（100%）として、その経済状況の割合を表したものが図7となる。大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）、修士課程及び専門職学位課程については、概ね5～6割が「家庭からの給付のみで修学可能」となっている一方、博士課程については、他の学校区分と比較して「家庭からの給付のみで修学可能」の割合が27.1%と低く、「家庭からの給付なし」の割合が49.3%と高くなっている。なお、大学学部（昼間部）を男女別に見たところ、大きな差は見られなかった。

表13 アルバイトの従事状況

アルバイトの従事状況

[単位: %]

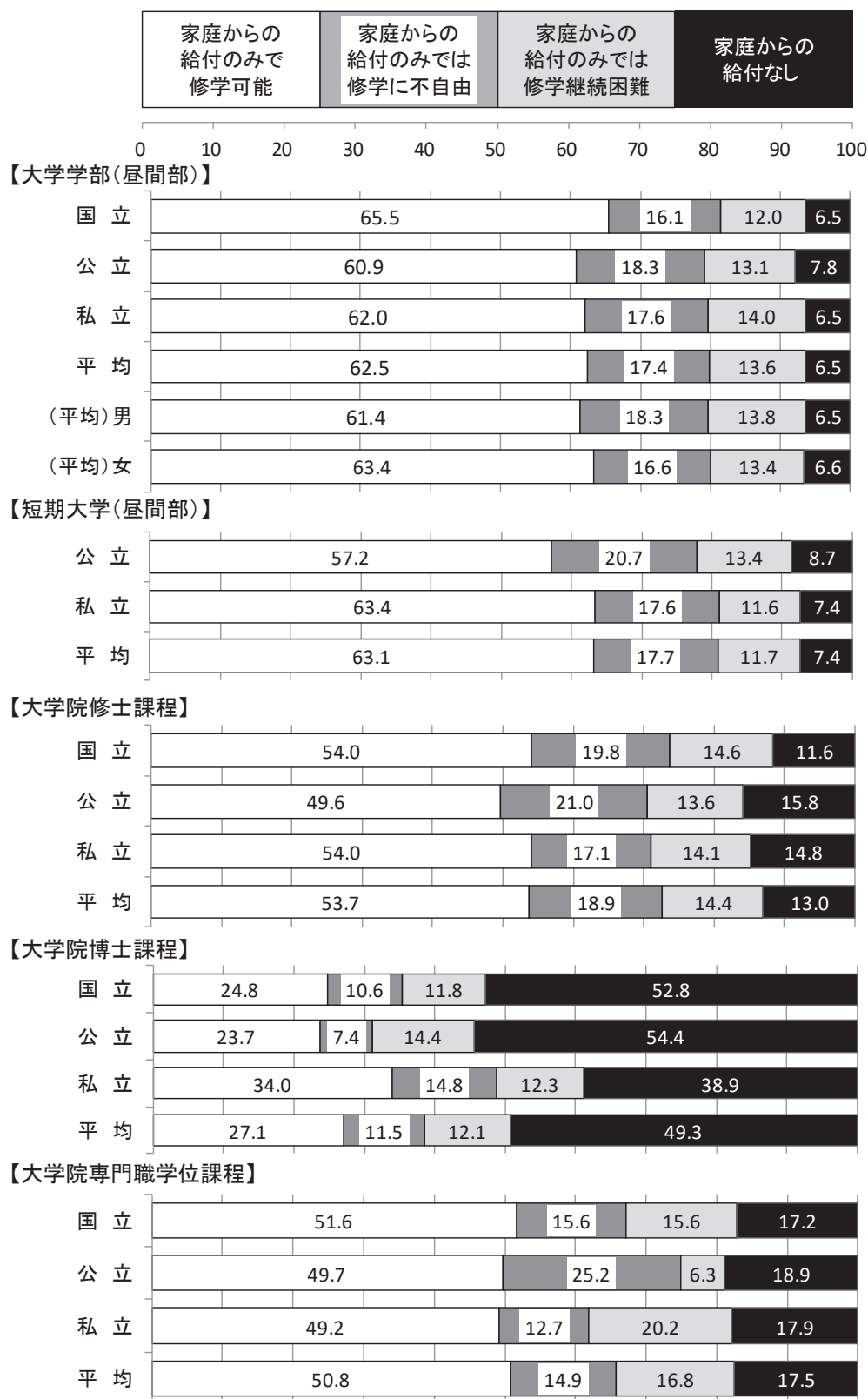
区 分		令和 2年度	令和 4年度	
大学 学部 （昼間部）	アルバイト従事者	80.7	83.8 (3.1)	
	家庭からの給付のみで修学可能	49.1	52.4 (3.3)	
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	31.5	31.5 (0.0)	
	アルバイト非従事者	19.3	16.2 (△3.1)	
短期大学 （昼間部）	アルバイト従事者	77.7	80.7 (3.0)	
	家庭からの給付のみで修学可能	42.8	50.9 (8.1)	
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	35.0	29.7 (△5.3)	
	アルバイト非従事者	22.3	19.3 (△3.0)	
大 学 院	修士課程	アルバイト従事者	82.5	86.5 (4.0)
		家庭からの給付のみで修学可能	44.5	46.5 (2.0)
		家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	38.0	40.0 (2.0)
		アルバイト非従事者	17.5	13.5 (△4.0)
	博士課程	アルバイト従事者	71.1	68.5 (△2.6)
		家庭からの給付のみで修学可能	20.9	18.6 (△2.3)
		家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	50.2	50.0 (△0.2)
		アルバイト非従事者	28.9	31.5 (2.6)
	専門職 学位課程	アルバイト従事者	48.2	52.0 (3.8)
		家庭からの給付のみで修学可能	26.7	26.4 (△0.3)
		家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	21.4	25.7 (4.3)
		アルバイト非従事者	51.8	48.0 (△3.8)

(注) 1. ()は、直前の調査との増減である。

2. 大学院の「アルバイト」には、TA(ティーチング・アシスタント)、RA(リサーチ・アシスタント)を含む。

図7 アルバイト従事者の経済状況

[単位：％]



(注) 1. 各図の数値は、学生生活調査結果集計表Ⅰ：大学学部・短期大学のH-1表、H-2表、同Ⅱ：大学院のH-1表、H-2表、H-3表を基に、全学生のうち、アルバイト従事者を100とした割合。

2. 大学院の「アルバイト」には、TA(ティーチング・アシスタント)とRA(リサーチ・アシスタント)を含む。

(2) アルバイト従事時期別学生数の割合（表14、図8）

アルバイト従事時期別学生数の割合について、学校区分別に見てみると、平均では、大学院の「経常的」の割合が70%～80%台であるのに対し、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）の「経常的」の割合は80%～90%台となっており、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）のほうが「経常的」に従事する割合が高い傾向がある。さらに、「経常的」の内訳を見ると、大学院では、専門職学位課程の長期休暇中を除き「週1、2日」の割合のほうが高い傾向であるのに対し、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）では、「週3日以上」の割合のほうが高い傾向であり、特に長期休暇中ではその割合が高くなっている。また、「週3日以上」の割合をさらに設置者別に見てみると、大学学部（昼間部）では、公立・私立が国立と比較して5.1～7.6ポイント高くなっており、短期大学（昼間部）では、私立が公立と比較して4.2～5.6ポイント高くなっている。これらの傾向は前回調査から変わっていない。

授業期間中と長期休暇中の割合について比較したところ、「臨時的（不定期）」については、すべての学校区分において長期休暇中のほうが高くなっており、平均では、授業期間中よりも2.5～5.0ポイント高くなっている。

表14 アルバイト従事時期別学生数の割合

[単位: %]

区 分		授業期間中					長期休暇中					
		臨時的 (不定期)	週1、2日	週3日以上	經常的	計	臨時的 (不定期)	週1、2日	週3日以上	經常的	計	
大学学部(昼間部)												
	国 立	10.9	44.3	44.8	89.1	100.0	14.5	24.6	60.9	85.5	100.0	
	公 立	7.5	40.2	52.3	92.5	100.0	14.2	17.3	68.5	85.8	100.0	
	私 立	10.0	40.1	49.9	90.0	100.0	13.4	18.7	67.9	86.6	100.0	
	平 均	10.0	40.8	49.2	90.0	100.0	13.6	19.6	66.8	86.4	100.0	
短期大学(昼間部)												
	公 立	10.6	39.9	49.5	89.4	100.0	17.0	17.1	65.9	83.0	100.0	
	私 立	7.8	38.5	53.7	92.2	100.0	12.3	16.2	71.5	87.7	100.0	
	平 均	7.9	38.6	53.5	92.1	100.0	12.5	16.2	71.2	87.4	100.0	
大 学 院	修士課程											
		国 立	20.3	51.7	28.0	79.7	100.0	22.2	39.9	37.9	77.8	100.0
		公 立	19.8	49.0	31.3	80.3	100.0	19.7	34.9	45.4	80.3	100.0
		私 立	17.8	51.3	30.8	82.1	100.0	22.0	35.3	42.7	78.0	100.0
		平 均	19.5	51.4	29.2	80.6	100.0	22.0	38.0	40.0	78.0	100.0
	博士課程											
		国 立	27.4	50.2	22.4	72.6	100.0	31.5	42.9	25.6	68.5	100.0
		公 立	22.7	51.5	25.8	77.3	100.0	27.4	42.9	29.7	72.6	100.0
		私 立	20.1	48.6	31.3	79.9	100.0	26.6	40.6	32.8	73.4	100.0
		平 均	24.8	49.8	25.3	75.1	100.0	29.8	42.2	28.0	70.2	100.0
	専門職学位課程											
		国 立	19.2	46.1	34.6	80.7	100.0	23.4	30.4	46.2	76.6	100.0
		公 立	31.3	37.5	31.3	68.8	100.0	14.3	42.9	42.9	85.8	100.0
		私 立	18.8	49.8	31.4	81.2	100.0	25.1	35.0	39.9	74.9	100.0
		平 均	19.4	47.0	33.5	80.5	100.0	23.7	32.1	44.1	76.2	100.0

(注) 大学院の「アルバイト」には、TA(ティーチング・アシスタント)及びRA(リサーチ・アシスタント)従事者を含まない。

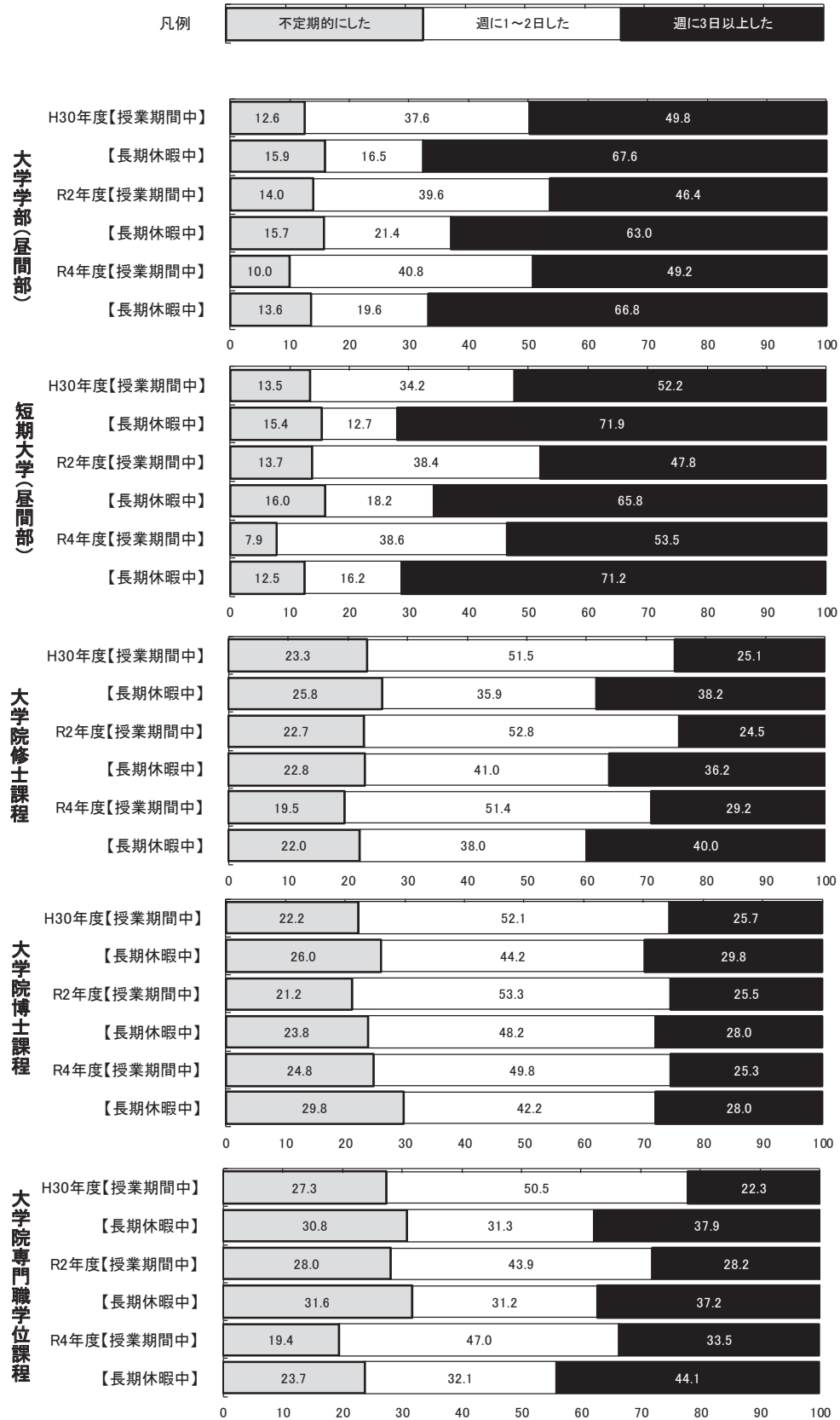
【参考】令和2年度 大学学部(昼間部)

[単位: %]

区 分	授業期間中					長期休暇中				
	臨時的 (不定期)	週1、2日	週3日以上	経常的	計	臨時的 (不定期)	週1、2日	週3日以上	経常的	計
大学学部(昼間部)										
国 立	16.0	43.2	40.9	84.1	100.0	18.6	26.0	55.4	81.4	100.0
公 立	13.0	38.7	48.3	87.0	100.0	15.8	21.1	63.1	84.2	100.0
私 立	13.6	38.9	47.4	86.3	100.0	15.0	20.4	64.6	85.0	100.0
平 均	14.0	39.6	46.4	86.0	100.0	15.7	21.4	63.0	84.4	100.0

図8 アルバイト従事時期別学生数の割合の推移

[単位: %]



(注) 大学院の「アルバイト」には、T A (ティーチング・アシスタント) 及びR A (リサーチ・アシスタント) を含まない。

(3) アルバイト従事職種別学生数の割合（表15）

アルバイト従事職種は、調査時前の1年間においてアルバイトに従事した者について、授業期間中・長期休暇中の別に関わらず従事した主な職種一つを質問したものである。

アルバイト従事職種別の学生数の割合について、授業期間中・長期休暇中別に見てみると、短期大学（昼間部）では、「軽労働」が授業期間中 85.0%・長期休暇中 84.7%と 8～9割程度を占めているのに対し、大学院では「軽労働」は 5 割以下であり、特に博士課程では同 9.9%・11.4%となっている。「特殊技能その他」は、博士課程で 6 割を超えているのに対し、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）では 1 割程度となっている。また、「家庭教師」については、修士課程、専門職学位課程で 2 割を超えているのに対し、短期大学（昼間部）では 1 割未満である。

次に、大学学部（昼間部）を設置者別に見てみると、「家庭教師」は、国立が 3 割程度であるのに対し、公立は 2 割未満、私立は 1 割程度となっている。一方で、「軽労働」では、国立が 5～6 割程度であるのに対し、公立・私立は 7 割を超えている。なお、平均について前回調査と比較したところ、大きな変化は見られなかった。

表15 アルバイト従事職種別学生数の割合

[単位: %]

【単位：％】													
区 分		家庭教師	事 務								特殊技能 その他 (合計)	計	
				販 売	飲食業	販売・飲食 業を除く軽 労働	軽労働 (合計)	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他			
大 学 学 部 (昼 間 部)	国立												
	授業期間中	29.6	4.3	14.0	35.5	5.7	55.2	0.7	1.9	8.2	10.1	100.0	
	長期休暇中	30.8	4.4	13.6	35.2	5.6	54.4	0.8	2.1	7.5	9.6	100.0	
	公立												
	授業期間中	15.9	3.3	23.0	43.0	5.5	71.5	0.7	1.0	7.5	8.5	100.0	
	長期休暇中	15.9	3.3	23.6	42.9	5.3	71.8	1.2	0.8	6.9	7.7	100.0	
	私立												
	授業期間中	9.2	3.0	26.3	41.8	6.6	74.7	1.6	0.9	10.6	11.5	100.0	
	長期休暇中	9.0	3.0	26.3	41.5	6.9	74.7	1.7	1.0	10.5	11.5	100.0	
	平均												
授業期間中	13.0	3.2	24.0	40.8	6.4	71.2	1.4	1.1	10.1	11.2	100.0		
長期休暇中	13.0	3.3	24.1	40.6	6.6	71.3	1.5	1.1	9.8	10.9	100.0		
短期大学(昼間部)													
	授業期間中	1.3	1.4	27.3	51.5	6.2	85.0	0.8	0.1	11.4	11.5	100.0	
	長期休暇中	1.2	1.4	27.7	50.1	6.9	84.7	0.7	0.1	11.9	12.0	100.0	
大 学 院	修士課程												
	授業期間中	24.6	6.4	14.6	24.2	5.2	44.0	1.2	5.2	18.6	23.8	100.0	
	長期休暇中	24.4	6.1	14.9	24.7	5.7	45.3	1.3	5.5	17.3	22.8	100.0	
	博士課程												
	授業期間中	17.3	7.0	3.0	4.8	2.1	9.9	0.3	19.1	46.4	65.5	100.0	
	長期休暇中	17.1	7.6	3.3	5.6	2.5	11.4	0.4	20.1	43.4	63.5	100.0	
	専門職学位課程												
	授業期間中	29.7	11.8	10.3	20.4	4.5	35.2	1.4	2.1	19.8	21.9	100.0	
長期休暇中	28.9	11.4	9.8	19.8	5.1	34.7	2.0	2.0	21.1	23.1	100.0		

(注) 1. 家庭教師には、塾講師などを含む。

2. 大学院の「アルバイト」には、TA(ティーチング・アシスタント)及びRA(リサーチ・アシスタント)を含まない。

【参考】令和2年度調査結果

[単位: %]

【参考】令和2年度調査結果											
区 分	家庭教師	事 務				軽労働 (合計)	重労働・ 危険作業			特殊技能 その他 (合計)	計
			販 売	飲食業	販売・飲食業を除く軽労働			特殊技能	その他		
大学学部(昼間部)											
授業期間中	13.6	2.7	25.3	43.2	6.2	74.7	1.3	1.0	6.7	7.7	100.0
長期休暇中	13.4	2.6	25.5	42.9	6.5	74.9	1.3	1.0	6.7	7.7	100.0

5. 奨学金の受給希望及び受給状況

(1) 学校区分別・設置者別の奨学金受給希望・受給状況（図9）

奨学金の受給希望の状況及び受給者（日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体、学校からの奨学金受給者をいう）の割合について、学校区分別（平均）で比較したところ、「受給者」は、短期大学（昼間部）で 61.5%と最も高くなっており、それ以外の区分では、専門職学位課程を除いて概ね 50～60%となっている。

「受給者」の割合について、さらに設置者別に比較したところ、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）では公立が最も高く、それぞれ 57.6%、64.1%となっている。修士課程では私立が最も高く 54.2%、博士課程、専門職学位課程では国立が最も高く、それぞれ 63.6%、41.7%となっている。（※1、2）

次に、「申請したが不採用」では、大学学部（昼間部）2.4%、短期大学（昼間部）2.0%、博士課程 2.3%であるのに対して、修士課程、専門職学位課程では 3.4～3.8%と、やや割合が高くなっている。「希望するが申請しなかった」については、大学学部（昼間部）3.3%、短期大学（昼間部）2.5%であるのに対して、大学院では 4.7～6.4%と、やや割合が高くなっている。

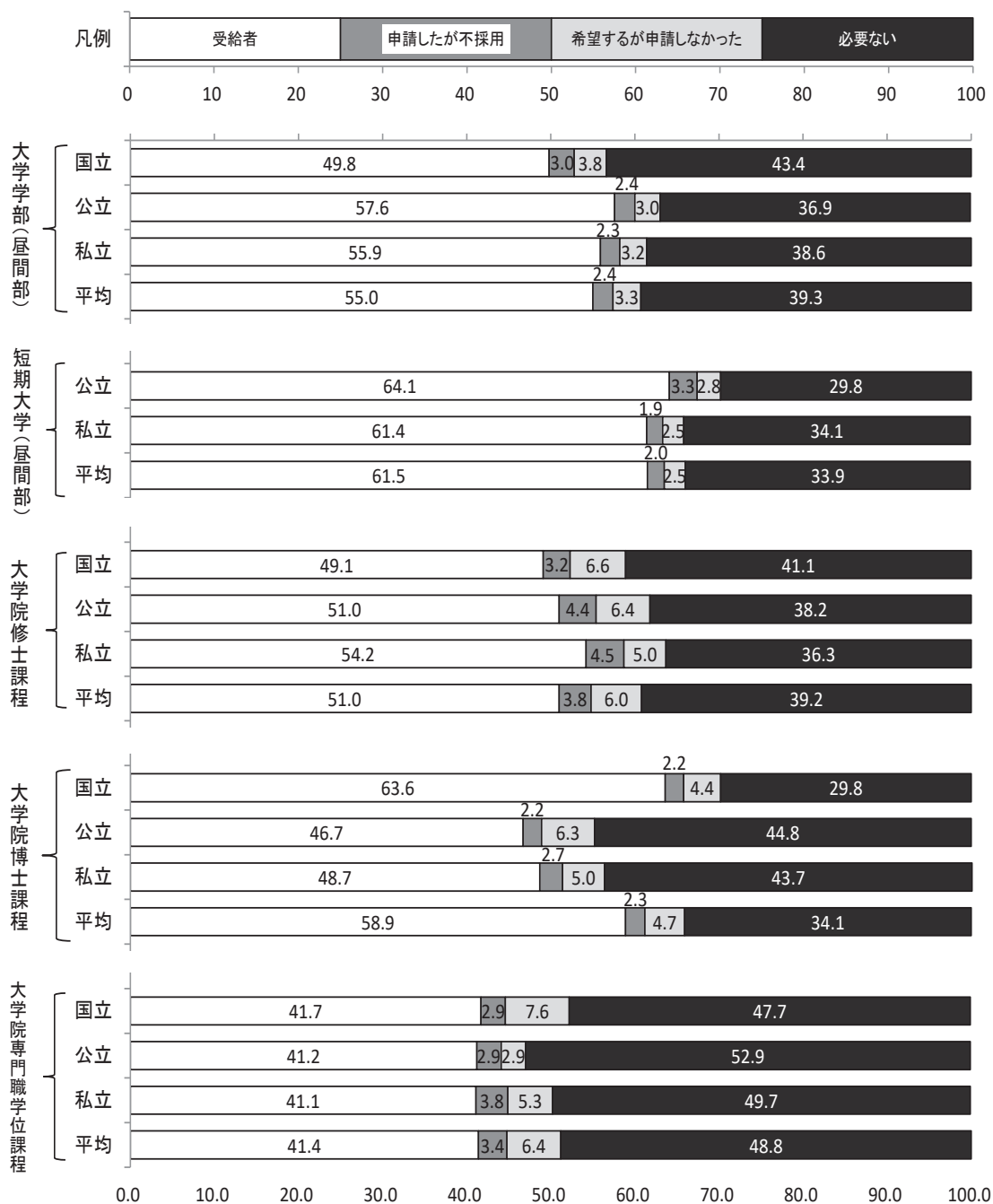
「受給者」「申請したが不採用」「希望するが申請しなかった」の合計を奨学金受給希望者とする、その割合は、大学学部（昼間部）60.7%、短期大学（昼間部）66.0%、修士課程 60.8%、博士課程 65.9%、専門職学位課程 51.2%となっており、いずれの学校区分も 50%～60%台の割合となっている。

なお、「受給者」「申請したが不採用」の合計を奨学金申請者として、奨学金申請者を分母とした「受給者」の割合を見てみると、大学学部（昼間部）95.8%、短期大学（昼間部）96.9%、修士課程 93.1%、博士課程 96.2%、専門職学位課程 92.4%となっている。

※1 日本学生支援機構の給付奨学金及び貸与奨学金の受給者の割合は、令和 4 年度支援実績ベースでは、大学学部は 32.3%、短期大学は 35.0%、大学院は 20.7%となっている。なお、学生生活調査では、奨学金受給率が実態よりもやや高めとなる傾向があることが以前から確認されている。

※2 令和 4 年度学生生活調査における大学学部及び短期大学の奨学金受給率の上昇は、主に日本学生支援機構の給付奨学金の受給率上昇によるものである。

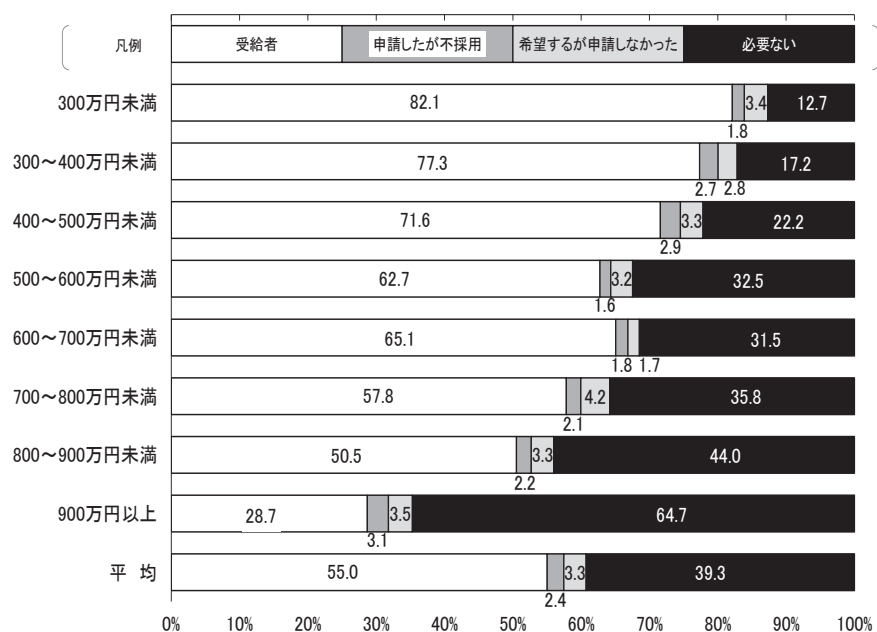
図9 学校区分別・設置者別の奨学金受給希望・受給状況



（2）家庭の年間収入別の奨学金受給希望・受給状況（図10）

大学学部（昼間部）について家庭の年間収入別の奨学金受給希望・受給状況を見てみると、家庭の年間収入が高くなるにつれて「受給者」の割合は低くなる傾向がある。なお、「申請したが不採用」「希望するが申請をしなかった」については、家庭の年間収入による大きな差は見られない。

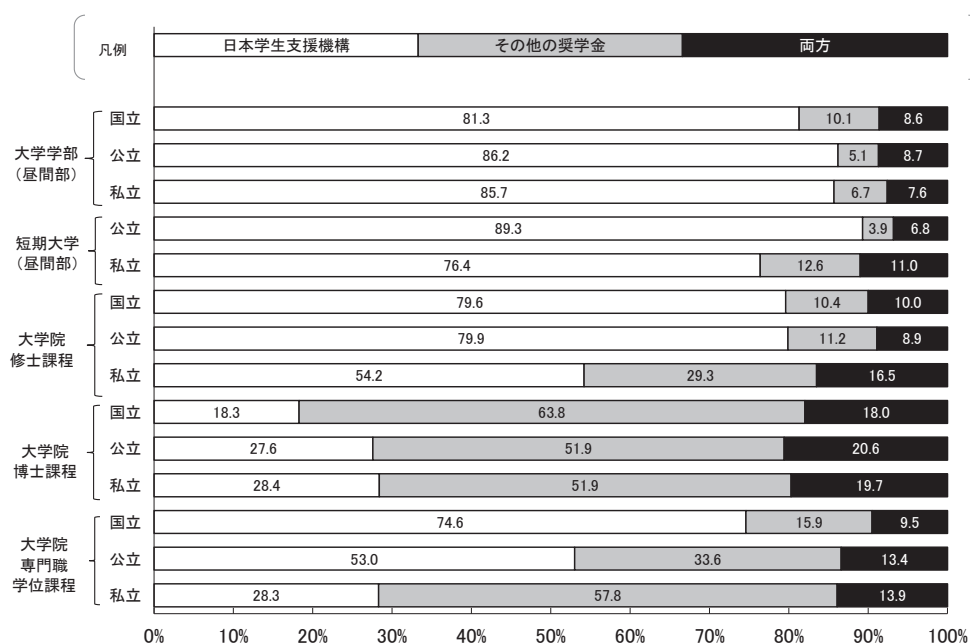
図10 家庭の年間収入別の奨学金受給希望・受給状況(大学学部(昼間部))



(3) 奨学金の種類別・設置者別受給状況 (図11)

奨学金の種類別受給状況を設置者別に見てみると、日本学生支援機構以外の奨学金を受給(「その他の奨学金」と「両方」の合計)している者の割合は、大学学部(昼間部)と博士課程は国立、その他の学校区分では私立が最も高くなっている。また、その割合は大学学部(昼間部)、短期大学(昼間部)より大学院のほうが高くなっており、それぞれ修士課程の私立で45.8%、博士課程の私立で71.6%、専門職学位課程の私立で71.7%となっている。

図11 奨学金の種類別・設置者別受給状況



6. 居住形態別・地域別通学時間（図12、表16）

居住形態別の通学時間（片道の通学時間）について、「自宅」からの通学者では、すべての学校区分において「31～60 分」と回答した者の割合が最も高く、次いで「61～90 分」と回答した者の割合が高くなっている。通学時間が 61 分以上の者は、大学学部（昼間部）で 52.2%、修士課程で 51.1%と高い割合となっている。

「学寮」からの通学者では、すべての学校区分において「0～10 分」と回答した者の割合が最も高く、いずれも 5 割を超えており、その割合が最も高い大学学部（昼間部）では 59.2%となっている。

「アパート等」からの通学者については、通学時間が 20 分以下である者の割合が、すべての学校区分において 5 割を超えており、特に、大学学部（昼間部）は 74.1%、短期大学（昼間部）は 75.2%、修士課程は 74.1%と 7 割を超えている。

次に、大学学部（昼間部）について地域別に見てみると、「自宅」からの通学者では、通学時間が 61 分以上であるものの割合は、東京圏 59.8%、京阪神 60.8%、その他 42.2%となっており、東京圏のほうがその他より 17.6 ポイント高くなっている。

「学寮」からの通学者では、「0～10 分」と回答した者の割合は、東京圏 43.9%、京阪神 50.6%、その他 67.0%となっており、東京圏よりその他のほうが 23.1 ポイント高くなっている。

「アパート等」からの通学者については、通学時間が 20 分以下である者の割合が、東京圏 53.5%、京阪神 69.4%、その他 82.2%となっており、東京圏よりその他のほうが 28.7 ポイント高くなっている。

なお、大学学部（昼間部）の全国平均について前回調査と比較したところ、「学寮」からの通学者で「0～10 分」と回答した者の割合が、6.0 ポイント低くなっている。

図12 居住形態別片道通学時間

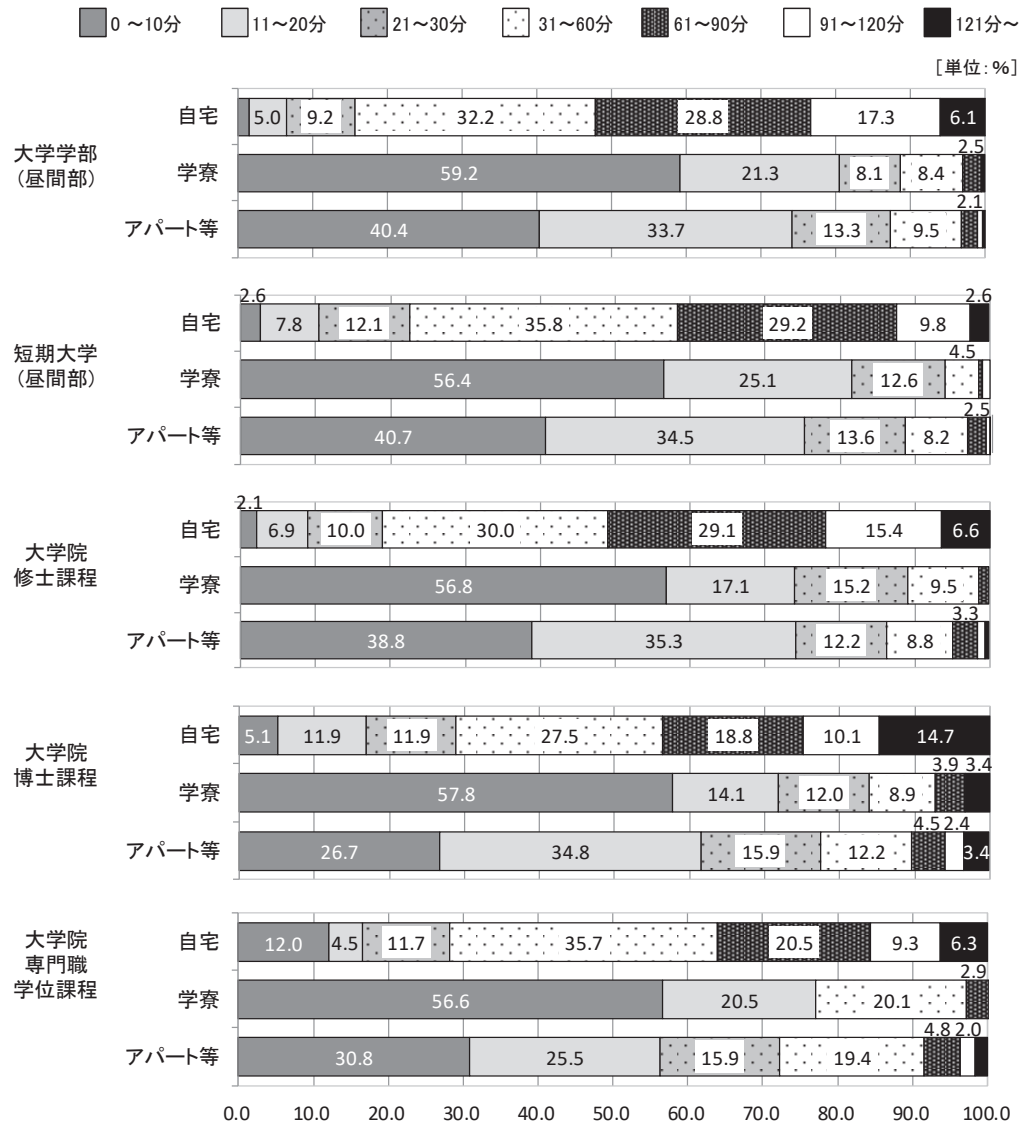


表16 居住形態別・地域別片道通学時間(大学学部(昼間部))

[単位: %]

区 分			0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計
令和4年度	自宅	東京圏	0.9	2.2	5.3	31.9	33.2	19.5	7.1	100.0
		京阪神	0.9	3.1	5.8	29.5	31.4	21.6	7.8	100.0
		その他	2.3	8.1	13.9	33.5	23.9	13.7	4.6	100.0
		全 国	1.5	5.0	9.2	32.2	28.8	17.3	6.1	100.0
	学寮	東京圏	43.9	15.5	11.8	20.1	6.8	—	1.8	100.0
		京阪神	50.6	30.8	10.2	5.4	3.0	—	—	100.0
		その他	67.0	22.3	6.3	3.9	0.6	—	—	100.0
		全 国	59.2	21.3	8.1	8.4	2.5	—	0.5	100.0
	アパート等	東京圏	21.8	31.7	17.9	22.9	4.3	0.9	0.4	100.0
		京阪神	34.5	34.9	14.0	8.5	4.5	2.3	1.3	100.0
		その他	48.1	34.1	11.5	5.0	0.8	0.3	0.2	100.0
		全 国	40.4	33.7	13.3	9.5	2.1	0.7	0.4	100.0
(参考)令和2年度	自宅	全 国	1.9	5.2	8.8	31.5	29.2	17.7	5.7	100.0
	学寮	全 国	65.2	19.9	7.6	6.2	0.7	0.3	0.1	100.0
	アパート等	全 国	42.8	35.8	11.5	7.6	1.7	0.4	0.2	100.0

7. 週間平均生活時間（表17）

週間平均生活時間は、「授業期間中の典型的な1週間（7日間）の生活時間」を質問したものである。なお、前回調査から一部の選択肢の表記を変更している。（※1、2）

①大学学部（昼間部）・短期大学（昼間部）

「大学の授業の予習・復習、課題など」については、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）とも「1～5時間」と回答した者の割合が5割を超えている。

「卒業論文・卒業研究」「就職活動」については、いずれも「0時間」と回答した者の割合が概ね70%～80%となっているが、これを3年次及び4年次のみ（大学学部（昼間部））、1年次及び2年次のみ（短期大学（昼間部））について見ると、「卒業論文・卒業研究」は、大学学部（昼間部）4年次では18.9%、短期大学（昼間部）2年次では45.9%と全学年の平均と比較して低くなっている。次に、「就職活動」について見ると、大学学部（昼間部）4年次では全学年の平均と大きく変わらないが、3年次では49.9%と低く、短期大学（昼間部）では1年次86.4%と比較して2年次56.9%と低くなっている。

前回調査との比較について、大学学部（昼間部）で見たところ、「大学の授業の予習・復習、課題など」を週6時間以上と回答した者の割合が12.5ポイント減少した一方、「大学の授業以外の学習」を週0時間と回答した者の割合が10.3ポイント増加している。

②大学院

「大学内での授業、研究、実習、実験」については、修士課程、博士課程では「31時間以上」と回答した者の割合が最も高くなっており、修士課程31.5%、博士課程33.1%となっている。また、「大学外での学習、研究」を週6時間以上と回答した者の割合は、それぞれ修士課程46.5%、博士課程51.3%、専門職学位課程70.3%となっている。

「アルバイト・定職」について、「31時間以上」と回答した者の割合は、博士課程26.7%、専門職学位課程29.1%と、大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）及び修士課程よりも高くなっている。

※1 大学学部（昼間部）、短期大学（昼間部）では、前回調査の「大学の授業（オンライン授業の視聴時間を含む）」「大学の授業以外の学習」を、それぞれ「大学の授業（オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間を含みます。）」「大学の授業以外の学習（語学学校、通信講座や独学での学習などが該当します。）」に変更した。

※2 修士課程、博士課程及び専門職学位課程では、「大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業の視聴時間を含む）」「大学外での学習、研究」を、それぞれ「大学内での授業、研究、実習、実験（オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間を含みます。）」「大学外での学習、研究（語学学校、通信講座や独学での学習などが該当します。）」に変更した。

表17 週間平均生活時間

[単位: %]

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学学部 (昼間部)	大学の授業	4.8	21.0	14.0	14.3	20.4	13.8	6.2	5.3	0.2	100.0
	大学の授業の予習・復習、課題など	9.1	52.3	22.9	7.7	3.8	1.6	1.0	1.4	0.2	100.0
	卒業論文・卒業研究	68.1	13.0	6.1	3.2	2.0	1.5	1.2	3.5	1.4	100.0
	うち3年のみ	66.0	23.6	4.6	1.9	1.1	0.3	0.5	0.8	1.2	100.0
	うち4年のみ	18.9	25.0	18.3	10.8	6.5	5.4	3.6	11.1	0.3	100.0
	大学の授業以外の学習	51.7	32.9	7.9	2.6	1.7	0.9	0.4	1.3	0.6	100.0
	部活動・サークル活動	55.7	25.1	8.6	4.3	2.5	1.4	0.9	1.2	0.5	100.0
	アルバイト・定職	23.3	12.5	18.9	19.2	14.7	5.7	1.9	3.4	0.4	100.0
	就職活動	77.2	14.9	3.9	1.4	0.6	0.3	0.1	0.5	1.0	100.0
	うち3年のみ	49.9	36.3	8.1	2.9	0.9	0.6	0.2	0.3	0.8	100.0
	うち4年のみ	69.8	17.9	5.6	2.3	1.5	0.6	0.3	1.5	0.4	100.0
	娯楽・交友	2.5	31.5	28.2	15.8	9.4	4.0	1.9	6.2	0.5	100.0
短期大学 (昼間部)	大学の授業	2.6	11.1	21.8	10.5	15.7	15.1	11.8	11.1	0.3	100.0
	大学の授業の予習・復習、課題など	7.7	69.7	14.5	4.7	1.6	0.6	0.4	0.6	0.3	100.0
	卒業論文・卒業研究	68.2	20.3	5.2	2.1	1.1	0.4	0.3	1.0	1.5	100.0
	うち1年のみ	91.5	4.2	1.2	0.2	0.2	-	-	0.2	2.4	100.0
	うち2年のみ	45.9	36.0	9.2	4.0	2.0	0.5	0.5	1.2	0.8	100.0
	大学の授業以外の学習	67.2	25.7	4.4	0.8	0.7	0.1	0.1	0.3	0.7	100.0
	部活動・サークル活動	82.6	14.2	1.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.8	100.0
	アルバイト・定職	27.3	14.3	16.8	17.3	13.0	5.4	2.3	3.0	0.6	100.0
	就職活動	70.8	21.7	3.6	1.0	0.5	0.3	0.1	0.7	1.3	100.0
	うち1年のみ	86.4	9.9	1.1	0.4	0.2	0.3	-	0.1	1.7	100.0
	うち2年のみ	56.9	32.2	5.8	1.7	0.8	0.4	0.0	1.2	1.0	100.0
	娯楽・交友	4.0	35.8	29.4	12.4	8.2	3.7	1.2	4.5	0.8	100.0

(注) 1. 「大学の授業」には、オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間も含む。

2. 「大学の授業以外の学習」には、語学学校、通信講座や独学での学習などが該当する。

(参考) 令和2年度調査

[単位: %]

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学学部 (昼間部)	大学の授業 (オンライン授業の視聴時間を含む)	4.2	19.3	14.3	17.2	21.0	13.8	5.5	4.2	0.4	100.0
	大学の授業の予習・復習、課題など	7.8	40.8	26.3	12.5	5.8	3.1	1.3	1.9	0.6	100.0
	卒業論文・卒業研究	73.1	11.6	4.8	2.8	2.0	1.4	0.9	2.6	0.8	100.0
	大学の授業以外の学習	41.4	38.1	10.2	3.9	2.1	1.1	0.5	1.8	0.9	100.0
	部活動・サークル活動	61.6	18.2	7.8	5.1	2.9	1.9	0.9	1.1	0.5	100.0
	アルバイト・定職	27.9	9.9	17.3	19.7	14.7	5.9	1.9	2.1	0.5	100.0
	就職活動	80.1	12.9	3.7	1.3	0.6	0.2	0.1	0.3	0.6	100.0
	娯楽・交友	4.0	28.0	27.0	17.5	9.5	4.8	2.1	6.4	0.7	100.0

[単位: %]

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学院修士課程	大学内での授業、研究、実習、実験	1.6	14.0	17.7	11.2	8.5	7.6	7.9	31.5	0.1	100.0
	大学外での学習、研究	17.1	36.3	18.9	9.7	6.0	3.8	2.2	5.9	0.1	100.0
	ティーチング・アシスタント(TA)	61.5	30.6	5.9	0.8	0.4	0.0	0.1	0.1	0.6	100.0
	リサーチ・アシスタント(RA)	91.7	3.7	1.9	1.0	0.4	0.2	0.1	0.5	0.5	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	35.8	14.3	17.4	12.0	7.5	3.1	1.5	8.1	0.3	100.0
	就職活動	61.3	22.6	8.5	3.5	1.7	0.6	0.2	1.3	0.5	100.0
	娯楽・交友	3.5	34.9	27.2	16.3	8.0	3.8	1.8	4.3	0.3	100.0
大学院博士課程	大学内での授業、研究、実習、実験	8.6	25.9	13.7	7.0	5.0	2.9	3.7	33.1	0.1	100.0
	大学外での学習、研究	16.3	32.4	18.5	9.3	6.9	3.9	2.4	10.3	0.1	100.0
	ティーチング・アシスタント(TA)	77.2	17.1	3.6	0.9	0.2	0.1	0.2	0.3	0.5	100.0
	リサーチ・アシスタント(RA)	76.9	9.9	5.6	2.5	1.9	0.7	0.4	1.6	0.5	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	38.6	8.3	9.9	5.5	5.8	2.8	2.0	26.7	0.4	100.0
	就職活動	86.0	9.5	2.0	0.5	0.2	0.1	0.0	1.2	0.4	100.0
	娯楽・交友	6.3	41.7	25.5	12.7	6.7	2.8	1.2	2.5	0.4	100.0
大学院専門職学位課程	大学内での授業、研究、実習、実験	0.8	27.2	23.5	23.2	11.6	5.0	3.1	5.7	–	100.0
	大学外での学習、研究	7.6	22.1	22.8	14.0	11.6	5.6	3.9	12.4	0.0	100.0
	ティーチング・アシスタント(TA)	90.7	5.7	1.0	0.4	0.1	0.2	–	0.0	1.8	100.0
	リサーチ・アシスタント(RA)	94.6	2.4	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	–	1.8	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	41.0	6.8	8.7	6.6	3.5	1.9	1.4	29.1	1.0	100.0
	就職活動	86.5	8.3	1.8	0.6	0.1	–	0.1	1.3	1.3	100.0
	娯楽・交友	5.0	44.8	28.3	11.4	5.7	1.7	0.9	1.8	0.4	100.0

(注) 1. 「大学内での授業、研究、実習、実験」には、オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間も含む。

2. 「大学外での学習、研究」には、語学学校、通信講座や独学での学習などが該当する。

8. 大学の学生支援体制への満足度(表18)

大学の学生支援体制の満足度については、表18のとおりである。

「利用したことがある」と回答した者のうち、「満足」「やや満足」と回答した者の割合を学校区分別に比較すると、いずれも短期大学(昼間部)の割合が最も高く、博士課程の割合が最も低くなっている。項目別に見ると、「図書館・自習室などの学習支援施設」では、「満足」又は「やや満足」と回答した者の割合は、すべての学校区分において8割を超えており、短期大学(昼間部)では、その他のすべての項目でも9割を超えている。

「利用したことがない」と回答した者の割合を見たところ、「図書館・自習室などの学習支援施設」は、すべての学校区分で5.8～16.8%と低い。が、「図書館・自習室などの学習支援施設」以外では、短期大学(昼間部)を除き、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「利用したことがない」の中では、いずれも「利用したことがない」と回答した者の割合が最も高くなっている。

「利用したことがない」と回答した者の割合を学校区分別に比較してみると、「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」では、すべての学校区分で概ね30%～40%となっているが、「キャリアセンターなどでの就職・進路への支援」では、博士課程の割合が最も高く、70.8%となっている。

表18 大学の学生支援体制への満足度

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答
		満足	やや満足	やや不満	不満		
図書館・自習室 などの学習支援施設	大学学部 (昼間部)	(90.5)		(9.5)		(100.0)	
	短期大学 (昼間部)	43.7	40.1	7.0	1.8	92.6	7.3
	大学院 修士課程	(92.8)		(7.2)		(100.0)	
	大学院 博士課程	46.4	36.4	5.1	1.3	89.2	10.7
	専門職学位課程	(86.5)		(13.5)		(100.0)	
	大学学部 (昼間部)	42.3	39.0	9.6	3.1	94.0	5.8
	短期大学 (昼間部)	(84.5)		(15.5)		(100.0)	
キャリアセンター などでの就職・進路 への支援	大学院 修士課程	36.8	33.4	9.6	3.3	83.1	16.8
	大学院 博士課程	(87.2)		(12.8)		(100.0)	
	専門職学位課程	41.4	32.2	8.3	2.5	84.4	15.6
	大学学部 (昼間部)	(89.1)		(10.9)		(100.0)	
	短期大学 (昼間部)	23.4	24.6	4.5	1.4	53.9	45.9
	大学院 修士課程	(93.5)		(6.5)		(100.0)	
	大学院 博士課程	40.0	30.6	4.0	0.9	75.5	24.3
学習・生活面での カウンセリング	専門職学位課程	(79.7)		(20.3)		(100.0)	
	大学学部 (昼間部)	18.5	24.3	7.7	3.2	53.7	46.0
	短期大学 (昼間部)	(74.1)		(25.9)		(100.0)	
	大学院 修士課程	10.0	11.5	4.7	2.8	29.0	70.8
	大学院 博士課程	(82.7)		(17.3)		(100.0)	
	専門職学位課程	11.7	12.7	3.6	1.5	29.5	70.2
	大学学部 (昼間部)	(88.2)		(11.8)		(100.0)	
奨学金等の 経済的支援に関する 情報提供	短期大学 (昼間部)	21.4	24.0	4.5	1.6	51.5	48.4
	大学院 修士課程	(91.3)		(8.7)		(100.0)	
	大学院 博士課程	31.4	32.3	5.0	1.1	69.8	30.0
	専門職学位課程	(81.7)		(18.3)		(100.0)	
	大学学部 (昼間部)	18.0	20.9	6.0	2.7	47.6	52.1
	短期大学 (昼間部)	(75.5)		(24.5)		(100.0)	
	大学院 修士課程	13.0	14.8	5.7	3.3	36.8	63.0
奨学金等の 経済的支援に関する 情報提供	大学院 博士課程	(84.0)		(16.0)		(100.0)	
	専門職学位課程	19.9	21.0	6.2	1.6	48.7	51.1
	大学学部 (昼間部)	(82.9)		(17.1)		(100.0)	
	短期大学 (昼間部)	25.1	28.3	8.2	2.8	64.4	35.3
	大学院 修士課程	(92.1)		(7.9)		(100.0)	
	大学院 博士課程	33.8	31.6	4.3	1.3	71.0	28.7
	専門職学位課程	(72.1)		(27.9)		(100.0)	
奨学金等の 経済的支援に関する 情報提供	大学学部 (昼間部)	19.7	29.1	12.9	6.0	67.7	32.2
	短期大学 (昼間部)	(69.9)		(30.1)		(100.0)	
	大学院 修士課程	17.7	26.7	12.2	6.9	63.5	36.5
	大学院 博士課程	(81.6)		(18.4)		(100.0)	
	専門職学位課程	23.4	23.5	7.0	3.6	57.5	42.4

(注) ()は、「利用したことがある」を100として算出した割合である。

9. 学生の不安や悩み(表19)

学生の不安や悩みについて、「大いにある」「少しある」と回答した者の割合を見たところ、専門職学位課程を除き「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が最も高い割合を示している。一方、「大いにある」「少しある」と回答した者の割合が最も低かったのは、大学学部（昼間部）では「学内の友人関係の悩みがある」、短期大学（昼間部）では「経済的に勉強を続けることが難しい」で、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」との差は、それぞれ大学学部（昼間部）48.2ポイント、短期大学（昼間部）40.4ポイントとなっており、大学院では「学内の友人関係の悩みがある」で、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」との差は、修士課程 33.1ポイント、博士課程 33.8ポイント、専門職学位課程 22.5ポイントとなっている。

なお、前回調査との比較について、大学学部（昼間部）で見たところ、「卒業後にやりたいことがみつからない」を「大いにある」と回答した者の割合は3.7ポイント増加しており、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」を「全くない」と回答した者の割合は1.1ポイント増加している。

表19 学生の不安や悩み

		[単位: %]					
区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていけない	大学学部(昼間部)	6.6	32.5	37.5	23.3	0.2	100.0
	短期大学(昼間部)	5.3	31.0	41.4	22.0	0.2	100.0
	大学院修士課程	5.8	23.6	37.2	33.2	0.2	100.0
	大学院博士課程	6.7	21.6	31.5	39.9	0.2	100.0
	大学院専門職学位課程	8.1	34.5	36.7	20.5	0.2	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	大学学部(昼間部)	17.4	33.7	26.8	22.0	0.2	100.0
	短期大学(昼間部)	12.1	28.6	32.4	26.7	0.3	100.0
	大学院修士課程	10.4	26.4	32.1	30.9	0.2	100.0
	大学院博士課程	8.1	23.7	28.2	39.8	0.2	100.0
	大学院専門職学位課程	7.4	24.5	31.0	36.9	0.3	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	大学学部(昼間部)	31.6	37.0	14.8	16.4	0.2	100.0
	短期大学(昼間部)	23.2	35.2	18.8	22.6	0.2	100.0
	大学院修士課程	24.9	23.9	18.9	32.1	0.2	100.0
	大学院博士課程	24.6	23.8	18.8	32.6	0.3	100.0
	大学院専門職学位課程	16.7	23.3	19.7	40.0	0.4	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	大学学部(昼間部)	4.9	17.8	34.3	42.8	0.2	100.0
	短期大学(昼間部)	3.7	14.3	36.5	45.1	0.3	100.0
	大学院修士課程	8.2	21.0	29.7	40.9	0.2	100.0
	大学院博士課程	12.2	25.5	25.6	36.4	0.2	100.0
	大学院専門職学位課程	7.2	20.5	25.0	47.0	0.2	100.0
学内の友人関係の悩みがある	大学学部(昼間部)	4.3	16.1	35.0	44.5	0.2	100.0
	短期大学(昼間部)	3.9	15.4	33.3	47.2	0.3	100.0
	大学院修士課程	3.6	12.1	30.7	53.3	0.2	100.0
	大学院博士課程	3.0	11.6	29.0	56.2	0.2	100.0
	大学院専門職学位課程	3.0	14.5	30.4	52.0	0.2	100.0

(参考)令和2年度調査

		[単位: %]					
区 分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
大学学部(昼間部)	授業の内容についていけない	4.3	28.6	40.7	26.4	0.1	100.0
	卒業後にやりたいことがみつからない	13.7	28.3	28.8	29.1	0.0	100.0
	希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	33.0	37.4	14.2	15.3	0.1	100.0
	経済的に勉強を続けることが難しい	1.9	11.4	37.6	49.0	0.1	100.0
	学内の友人関係の悩みがある	2.9	11.5	31.4	54.2	0.0	100.0

②表 居住形態別・設置者別の学生生活費

区 分	自 宅			下宿、アパート、その他			全居住形態平均		
	学 費	生活費	合 計	学 費	生活費	合 計	学 費	生活費	合 計
大学学部（昼間部）	国立 657,200 円 (3.8%)	425,400 円 (20.1%)	1,082,600 円 (9.7%)	582,400 円 (0.6%)	1,099,400 円 (△3.8%)	1,681,800 円 (△2.3%)	598,600 円 (1.1%)	861,900 円 (2.6%)	1,460,500 円 (2.0%)
	公立 614,800 (△4.4%)	384,100 (9.7%)	998,900 (0.6%)	559,000 (△2.9%)	1,024,400 (△8.0%)	1,583,400 (△6.3%)	583,000 (△3.6%)	753,400 (△1.9%)	1,336,400 (△2.7%)
	私立 1,305,700 (△0.5%)	426,100 (8.7%)	1,731,800 (1.6%)	1,338,100 (1.2%)	1,065,700 (△2.4%)	2,403,800 (△0.4%)	1,308,100 (△0.2%)	631,500 (2.2%)	1,939,600 (0.6%)
	平均 1,218,400 (0.3%)	424,300 (9.8%)	1,642,700 (2.6%)	1,052,200 (0.9%)	1,071,800 (△3.3%)	2,124,000 (△1.3%)	1,147,300 (△0.1%)	677,400 (2.0%)	1,824,700 (0.6%)
短期大学（昼間部）	国立 ……	…	…	…	…	…	…	…	…
	公立 478,500 (△8.9%)	301,000 (△7.4%)	777,500 (△8.3%)	385,300 (△14.0%)	827,600 (△11.4%)	1,212,900 (△12.2%)	426,200 (△12.0%)	562,100 (△7.2%)	988,300 (△9.3%)
	私立 1,060,200 (△4.6%)	364,000 (0.9%)	1,424,200 (△3.3%)	943,300 (△8.0%)	888,500 (△10.8%)	1,831,800 (△9.4%)	1,034,900 (△5.3%)	485,100 (△0.7%)	1,520,000 (△3.9%)
	平均 1,041,300 (△4.6%)	362,000 (0.6%)	1,403,300 (△3.3%)	877,800 (△8.2%)	881,100 (△10.9%)	1,758,900 (△9.6%)	1,003,200 (△5.5%)	489,200 (△1.0%)	1,492,400 (△4.1%)
大学院	国立 680,800 (5.9%)	516,600 (△1.2%)	1,197,400 (2.7%)	550,400 (△1.6%)	1,299,200 (△2.3%)	1,849,600 (△2.1%)	584,700 (0.3%)	1,035,900 (△2.8%)	1,620,600 (△1.7%)
	公立 650,800 (△3.7%)	536,600 (△9.1%)	1,187,400 (△6.2%)	549,600 (△5.4%)	1,227,700 (△2.3%)	1,777,300 (△3.3%)	591,800 (△4.6%)	927,000 (△4.1%)	1,518,800 (△4.3%)
	私立 1,114,300 (0.8%)	583,500 (△0.1%)	1,697,800 (0.5%)	1,033,700 (△0.2%)	1,350,700 (1.5%)	2,384,400 (0.8%)	1,082,900 (0.9%)	882,600 (△1.5%)	1,965,500 (△0.2%)
	平均 890,800 (3.3%)	550,500 (△1.0%)	1,441,300 (1.6%)	665,000 (△0.9%)	1,306,700 (△1.4%)	1,971,700 (△1.2%)	755,100 (1.1%)	976,600 (△2.7%)	1,731,700 (△1.1%)
大学院	国立 621,800 (△5.7%)	1,169,100 (△2.9%)	1,790,900 (△3.9%)	431,900 (△16.8%)	1,876,500 (2.3%)	2,308,400 (△1.9%)	489,000 (△12.7%)	1,666,000 (3.1%)	2,155,000 (△1.0%)
	公立 727,700 (△7.4%)	1,397,900 (△9.8%)	2,125,600 (△9.0%)	588,200 (△3.2%)	1,861,900 (△15.8%)	2,450,100 (△13.1%)	639,500 (△6.1%)	1,690,000 (△12.5%)	2,329,500 (△10.8%)
	私立 931,700 (7.2%)	1,158,900 (△9.3%)	2,090,600 (△2.6%)	825,900 (0.9%)	1,898,100 (3.7%)	2,724,000 (2.9%)	874,600 (4.3%)	1,543,900 (△0.1%)	2,418,500 (1.4%)
	平均 735,000 (△0.6%)	1,179,200 (△5.9%)	1,914,200 (△3.9%)	516,700 (△11.4%)	1,879,800 (1.3%)	2,396,500 (△1.8%)	590,400 (△7.2%)	1,638,000 (1.2%)	2,228,400 (△1.1%)
専門職学位課程	国立 772,900 (9.3%)	628,500 (△15.5%)	1,401,400 (△3.4%)	639,600 (△0.9%)	1,350,200 (△3.0%)	1,989,800 (△2.3%)	685,500 (4.8%)	1,036,000 (△4.7%)	1,721,500 (△1.1%)
	公立 651,000 (△17.5%)	1,115,600 (△36.8%)	1,766,600 (△30.8%)	707,900 (△0.9%)	1,250,600 (△40.4%)	1,958,500 (△30.3%)	668,000 (△7.4%)	1,117,100 (△29.6%)	1,785,100 (△22.6%)
	私立 1,411,800 (5.1%)	1,266,000 (8.8%)	2,677,800 (6.8%)	1,287,900 (5.6%)	1,930,800 (18.9%)	3,218,700 (13.2%)	1,365,800 (5.9%)	1,505,300 (14.6%)	2,872,100 (10.3%)
	平均 1,128,500 (5.2%)	1,001,600 (△1.7%)	2,130,100 (1.8%)	885,000 (0.6%)	1,567,100 (4.4%)	2,452,100 (3.0%)	998,700 (4.0%)	1,254,200 (3.4%)	2,252,900 (3.7%)

(注) () は、令和2年度調査からの伸び率である。